

八木書店

中古文学会

2023年秋 会員限定 割引販売カタログ

【特集】源氏物語の古写本



【申込期限】2023年12月末日 【販売価格】全品1割引・送料サービス
【お支払い方法】郵便振替用紙、銀行振込
【ご注文方法】 Fax : 03-3291-6300 (最終頁の注文書をご利用ください)
Tel : 03-3291-2961 / E-mail : pub@books-yagi.co.jp

新天理図書館善本叢書 第3期
源氏物語 池田本 全10巻 [重要文化財]

尾州家河内本源氏物語 全10巻
[重要文化財]

●好評発売中!



●好評発売中!



定家本源氏物語
若紫
●残部僅少!



定家本源氏物語
行幸・早蕨
●好評発売中!



※ 1割引の特別価格は上記の連絡先へご注文いただいた場合のみ適用
(八木書店古書部店頭、ネット販売、その他書店様等へのご注文の場合は1割引となりません)

【八木書店 出版物・古書目録】 <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

驚愕の新出資料！

高精細原寸カラー版で初公開

多くのメディアで大々的に報道された新出定家本の全貌が明らかに！

定家本源氏物語 若紫^{わかむらさき}

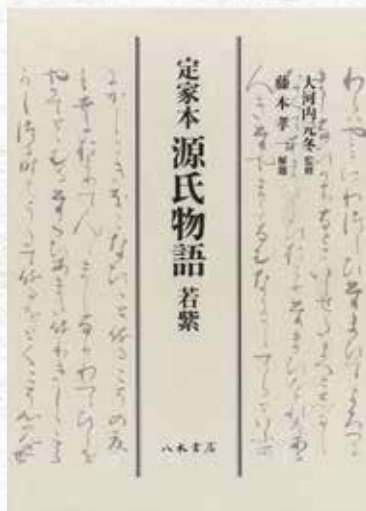
●残部僅少！ 2020年3月刊行 ISBN978-4-8406-9770-5

【監修】大河内元冬 【解題】藤本孝一

●B5判上製／貼函入／192頁／定価27,500円（税込）



- 藤原定家（1162～1241）が直接監督して書写された定家本『源氏物語』は、これまで現存するのが『花散里』『行幸』『柏木』『早蕨』の僅か4巻（全て重要文化財）のみとされていた。
- 2019年、大河内家に伝わった『若紫』が新たに定家本として確認され、今後の源氏物語研究へ資する新出貴重資料として紹介された。
- このたび刊行の高精細原寸カラー版によって、その詳細が調査可能となる。



※定家本源氏物語『若紫』原本の姿

既刊



【重要文化財】

定家本源氏物語 行幸・早蕨^{みゆき さわらび}

●好評発売中！ 2018年1月刊行 ISBN978-4-8406-9765-1

【編集・解題】藤本孝一

●B5判上製／貼函入／186頁／定価30,800円（税込）



これまで詳細不明だった定家本二帖の全貌を、高精細原寸カラー版で初公開。収録原本は、『行幸』（国所蔵・文化庁保管）、『早蕨』（個人蔵）。影印本文に加え、詳細な解題を収載する。また解題には、これまで未紹介の参考史料として、藤原定家による大原野行幸の儀式次第書『大原野行幸次第』（個人蔵）の全文翻刻を付載。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/> ※定価は10%税込みです

定家本（青表紙本）系統の諸本中、
最重要古写本の全貌を初公開！
五十二巻のうち四十八巻が鎌倉末写の基幹巻

2018年新指定！

重要文化財

源氏物語 池田本

全十巻

セット定価三七八、四〇〇円（10%税込）

高精細カラー版

新天理図書館善本叢書 第13～22巻 ● A5判／平均六〇六頁／分売可

天理図書館貴重書室

【解題】岡寫偉久子

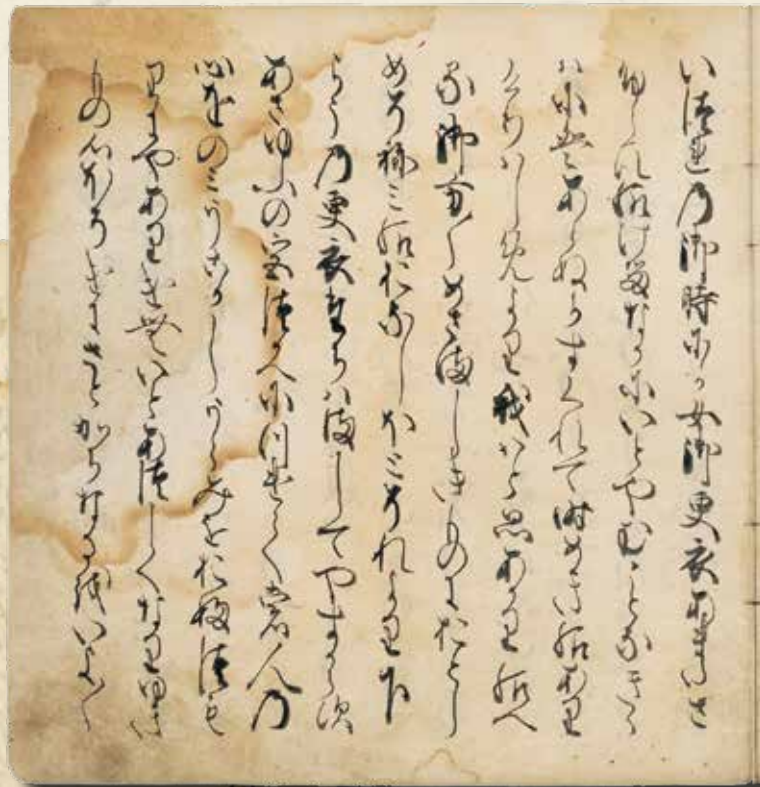
★各巻明細は[こちらから](#)↓



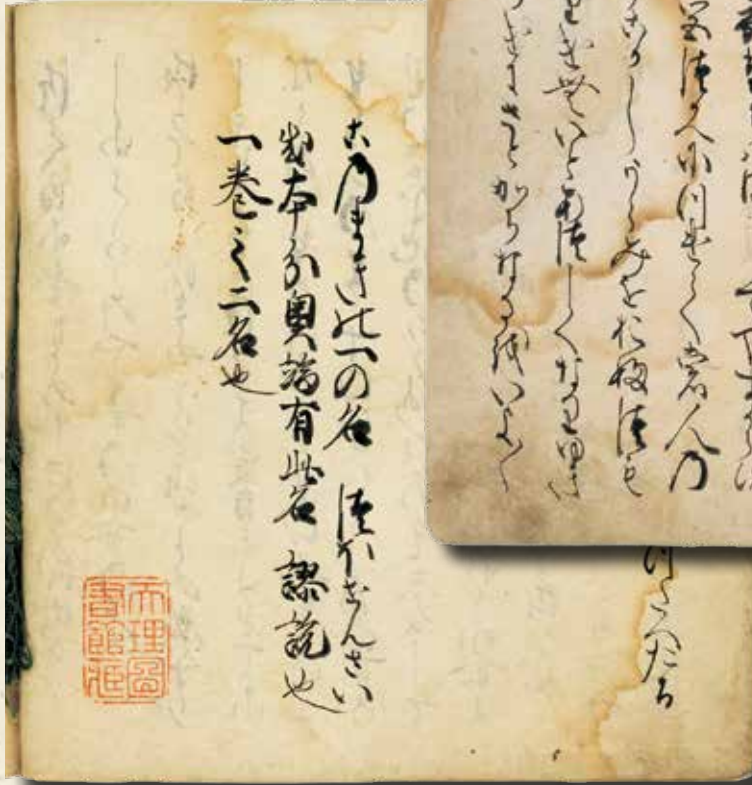
源氏物語の新たな底本として必備！

八木書店
YAGI BOOK STORE LTD.

- 『源氏物語』の鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持（四十八巻）。
- 基幹巻の本文は全て青表紙本で揃っており、鎌倉写本として他に類例なし。
- 基幹巻の書写者はほぼ二手（甲・乙）、甲筆の三十六巻は整った一定の筆致。
- 基幹巻のうち十一巻に「奥入」あり、そのうち八巻は本文と同筆。



桐壺 巻頭と奥入



本書は、かつて池田亀鑑「桃園文庫」の所蔵であったことから「池田本」、あるいは「二条為明筆」との極札を持つことから「伝二条為明筆本」とも呼称されてきた。『源氏物語』五十四巻中の花散里・柏木巻を欠いて全五十二巻四十九冊。この内、後からの取り合わせである四巻四冊を除く四十八巻が成立当初の基幹の巻々である。『源氏物語大成』以来、その筆致・紙質・装本の趣等から鎌倉末期の成立と認定されている。このような池田本は、『源氏物語』鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持する伝本であり、同時に、その四十八巻の本文がすべて「青表紙本」で揃っていることは、「青表紙本」鎌倉写本において現在のところ他に例がない。この基幹巻四十八巻は書写者がほぼ二手（甲・乙）に集約される。中でも甲筆とした三十六巻は整った一定の筆致であり、この内の八巻には本文同筆の「奥入」が付載されている。

藤原定家が『源氏物語』本文を整えた時、その各巻末に書き入れた簡略な勘物である「奥入」。その有無は『大成』においての「青表紙本」伝本価値判断の最も重要な事項の一つであった。その後「奥入」についての調査・研究は進展し、本書池田本の「奥入」は最も初期の形態に属するものか、との再評価も行われている。

鎌倉写本としての池田本の姿を見る時、後補の打曇紙表紙の次には、多くの巻々に成立当初の本文共紙表紙がそのまま残されている。鎌倉期の本文に対しては、室町期の勘物に類する行間書入の他には、ほぼ後補の手が入っていない。本書は成立当初の本文・姿を比較的明瞭にたどれる写本であると言つてよい。

定家が整えた「青表紙本」の本文は、室町期以降現在に至るまでほぼ『源氏物語』鑑賞・研究の基底本文であったと言つてよい。しかし近年、この「青表紙本」の概念に対しての様々な疑義・見解が報告され論じられている。旧来の「青表紙本」の概念そのものが揺らいでいる現今の状況において、鎌倉期成立当初の基幹本文四十八巻をそのまま保持している池田本は、向後、重要な役割を果たす伝本となると思われる。

最新の原本調査により河内本の祖本と目される
重要写本の全貌を高精細オールカラーで影印！

●源氏物語本文研究に新たな画期をなす必備資料！

【重要文化財】 高精細カラー版

尾州家河内本 源氏物語

全10巻 好評発売中！

【原本所蔵・監修】名古屋市蓬左文庫 【解題】岡嶋偉久子

- ◆ B5 判上製・貼函入・平均440頁・各巻定価30,800円（本体28,000円＋税10%）※分売可
- ◆ 全10巻完結セット定価308,000円（本体280,000円＋税10%）ISBN978-4-8406-9340-0（セット）



源氏物語本文系統（青表紙本・河内本・別本）の再検討が提起されている今、
源親行稿本の可能性が指摘される最重要古写本の全貌が明らかに！



- 第1巻 桐壺・帚木・空蟬・夕顔・若紫・末摘花
- 第2巻 紅葉賀・花宴・葵・賢木・花散里・須磨・明石
- 第3巻 濡標・蓬生・関屋・絵合・松風・薄雲
- 第4巻 朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶・蛭・常夏
- 第5巻 篝火・野分・行幸・藤袴・真木柱・梅枝・藤裏葉
- 第6巻 若菜上・若菜下
- 第7巻 柏木・横笛・鈴虫・夕霧・御法・幻
- 第8巻 匂宮・紅梅・竹河・橋姫・椎本・総角
- 第9巻 早蕨・宿木・東屋
- 第10巻 浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋

尾州家河内本源氏物語について

鎌倉時代に源光行・親行父子による源氏物語本文の研究・校訂によって成立した河内本（父子ともに河内守であったことに由来）の最古写本として伝わり、54帖が揃った源氏物語の写本としても現存最古の一つである。

本文は厚手の鳥の子料紙、表紙には重厚美麗な装飾料紙を用いた大和綴の大型冊子本で、鎌倉期書写の41巻と室町前期頃書写の後補13巻より成り、元来は54巻54冊であったものを後に23冊に合綴。「夢浮橋」巻末に金沢（北条）実時の奥書がある。尾張徳川家に伝えられて現在は名古屋市蓬左文庫が所蔵し、重要文化財に指定されている。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

さよなら、品切れ。



全363冊

2023.07 新規追加56冊

* 各冊分売いたします / 受注生産となります (A5判・並製・カバー装)

書名	ISBN	著者名	本体	定価 (税込)
権記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3276-8	渡辺直彦校訂	7,000	7,700
台記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3351-2	橋本義彦・今江廣道校訂	8,000	8,800
葉黄記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3401-4	菊地康明・田沼睦校訂	9,000	9,900
勘仲記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3252-2	高橋秀樹・櫻井彦・中込律子校訂	10,000	11,000
花園天皇宸記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3248-5	村田正志校訂	7,000	7,700
花園天皇宸記 2 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3249-2	村田正志校訂	9,000	9,900
花園天皇宸記 3 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3250-8	村田正志校訂	10,000	11,000
教言卿記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3259-1	臼井信義・嗣永芳照校訂	9,000	9,900
教言卿記 2 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3260-7	臼井信義・嗣永芳照校訂	9,000	9,900
教言卿記 3・教興卿記 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3261-4	臼井信義・嗣永芳照校訂	8,000	8,800
松陰私語 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3338-3	峰岸純夫・川崎千鶴校訂	10,000	11,000
三藐院記 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3302-4	近衛通隆・名和修・橋本政宣校訂	8,000	8,800
義演准后日記 1 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3254-6	弥永貞三・鈴木茂男校訂	10,000	11,000
義演准后日記 3 (史料纂集古記録編)	978-4-8406-3256-0	弥永貞三・副島種経校訂	9,000	9,900

八木書店 オンデマンド版一覧

*各冊分売いたします／受注生産となります (A5判・並製・カバー装)

書名	ISBN	著者名	本体	定価 (税込)
五条家文書 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3426-7	村田正志・黒川高明校訂	10,000	11,000
西福寺文書 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3429-8	玉山成元校訂	7,000	7,700
朽木文書 1 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3413-7	奥野高廣・加藤哲校訂	7,000	7,700
気多神社文書 1 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3408-3	藤井貞文・小倉学・木野主計校訂	9,000	9,900
気多神社文書 2 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3409-0	藤井貞文・小倉学・木野主計校訂	8,000	8,800
気多神社文書 3 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3410-6	藤井貞文・小倉学・木野主計校訂	11,000	12,100
大樹寺文書 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3435-9	玉山成元校訂	7,000	7,700
賀茂別雷神社文書 1 (史料纂集古文書編)	978-4-8406-3407-6	奥野高廣・岩沢愿彦校訂	9,000	9,900
園太暦 1	978-4-8406-3001-6	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	13,000	14,300
園太暦 2	978-4-8406-3002-3	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	13,000	14,300
園太暦 3	978-4-8406-3003-0	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	13,000	14,300
園太暦 4	978-4-8406-3004-7	岩橋小弥太・村田正志・永島福太郎校訂	13,000	14,300
言継卿記 1	978-4-8406-3053-5	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000	14,300
言継卿記 2	978-4-8406-3054-2	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000	14,300
言継卿記 3	978-4-8406-3055-9	国書刊行会編纂	13,000	14,300
言継卿記 4	978-4-8406-3056-6	国書刊行会編纂	13,000	14,300
言継卿記 5	978-4-8406-3057-3	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000	14,300
言継卿記 6	978-4-8406-3058-0	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000	14,300
寛永諸家系図伝 (全 17 巻)	978-4-8406-3595-0	斎木一馬・林亮勝・橋本政宣校訂	揃 153,000	揃 168,300
寛政重修諸家譜 1	978-4-8406-3026-9	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 2	978-4-8406-3027-6	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 3	978-4-8406-3028-3	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 4	978-4-8406-3029-0	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 5	978-4-8406-3030-6	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 6	978-4-8406-3031-3	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 7	978-4-8406-3032-0	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 8	978-4-8406-3033-7	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 9	978-4-8406-3034-4	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 10	978-4-8406-3035-1	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 11	978-4-8406-3036-8	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 12	978-4-8406-3037-5	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 13	978-4-8406-3038-2	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 14	978-4-8406-3039-9	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 15	978-4-8406-3040-5	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 16	978-4-8406-3041-2	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 17	978-4-8406-3042-9	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 18	978-4-8406-3043-6	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 19	978-4-8406-3044-3	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 20	978-4-8406-3045-0	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 21	978-4-8406-3046-7	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 22	978-4-8406-3047-4	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 23 索引 1	978-4-8406-3048-1	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 24 索引 2	978-4-8406-3049-8	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 25 索引 3	978-4-8406-3050-4	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜 26 索引 4	978-4-8406-3051-1	高柳光寿・岡山泰四・斎木一馬編集顧問	10,000	11,000
寛政重修諸家譜家紋	978-4-8406-3052-8	千鹿野茂編	12,000	13,200
断家譜 1	978-4-8406-3084-9	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000	11,000
断家譜 2	978-4-8406-3085-6	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000	11,000
断家譜 3	978-4-8406-3086-3	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000	11,000

このほかにもオンデマンド書目がございます。詳しくは右記のQRコードから八木書店サイトをご覧ください。



『吾妻鏡』の欠落を補う、鎌倉時代史研究の基本史料！
承久の乱後、朝幕関係の転換期を生き延びた廷臣の日記

【史料纂集古記録編 第218回配本】

平戸記 第1 (全3冊)

★全3冊定期予約募集！

奈良中世日記研究会校訂

(丹生谷哲一・生駒孝臣・岩田慎平・大島佳代・高正樹・斎木涼子・曾我部愛・吉江崇)

第1 2023年11月刊行予定 定価17,600円(本体16,000円+税)

A5判上製・函入・330頁 ISBN978-4-8406-5218-6 C3321 ¥16000E

【所収】延応2年(1240)正月～仁治3年(1242)9月



～『平戸記』とは～

平経高(1180-1255)の日記。姓の「平」と民部卿の唐名である「戸部尚書」の「戸」から『平戸記』と呼ばれ、『経高卿記』とも称される。平経高は治承4年(1180)、桓武平氏高棟流の平行範の子として生まれた。はじめ吉田経房の猶子となるが、のち復姓し藏人、弁官を経て元仁元年(1224)45歳にして従三位に叙され、公卿となる。建長7年(1255)、76歳で薨ずるまで八朝(後鳥羽～後深草天皇)に仕え、博学にして故実に通じ、関白九条道家の側近の一人である。現在、延応2(仁治元)・仁治3年、寛元2・3年の写本と部類記などに引用された逸文が伝存する。

〔本書の特長〕

① 底本に古写本を採用した最良のテキストを提供

『平戸記』の自筆原本はなく、南北朝期の書写と推定される伏見宮本、「明暦」の印記をもつ東山御文庫所蔵本(新写本)を主たる底本として翻刻・校訂を行った。長らく「史料大成」本が使用されてきたが、古写本を底本としていないという現況に鑑み、今回新たに諸写本を調査した上で校合を施した。また、標出(内容の要約)を付して読解の便宜を図った。

② 鎌倉時代の研究に不可欠の第一級の史料

『平戸記』には鎌倉幕府の基本文献である『吾妻鏡』で欠落する仁治3年の記事が収録されている。記主の経高は、承久の乱後の親幕府派に信任され、朝廷の政務や故実に通じた人物として人々から一目置かれていた。そのため、本書は公武に関わる記事に富む。第1冊には高麗国牒状など外交の記事、仁治改元における年号勘文や除目における聞書など朝廷政務に関わる文書、後嵯峨天皇の即位・大嘗祭の関連記事、関東の鎌倉幕府・京都の九条家の動向に関する記事などが収録されている。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 ●Web <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

●TEL 03-3291-2961 [営業]-2969 [編集] ●FAX 03-3291-6300 ●E-mail pub@books-yagi.o.jp

Table with 4 main columns: 配本, 書名, 税込価格, 注文. It lists various historical documents and their prices, including titles like '古記録編(既刊217冊)' and '古文書編(既刊53冊)'. The table is organized into two main sections: '古記録編' and '古文書編'.

※配列は時代順、書名の頭番号は配本回数です。詳細はWebサイト(https://catalogue.books-yagi.co.jp/)をご覧ください。

※[OD版]…オンデマンド版(受注生産)。装幀は従来の上製・函入から、使いやすしい並製・カバー装に(判型はA5判に変更なし)。

東部ユーラシアにおける〈交通〉のなかで 日本の古代国家はいかに形成されたのか

継体天皇の即位、白村江の戦い、高麗郡建郡、遣唐使の派遣、渤海との外交など重要な事例を〈交通〉の視点から再検証し、日本古代国家の形成史を描く

古代日本の国家形成と 東部ユーラシア〈交通〉

中野 高行 著

(大東文化大学非常勤講師)

2023年12月20日刊行予定 定価9,900円(本体9,000円+税10%)
A5判・上製・カバー装・368頁(予定) ISBN978-4-8406-2269-1 C3021 ¥9000E

多面的な〈交通〉の機能に注目 〈交通〉の機能を、①政治・軍事的機能(戦争や外交をふくむ対外諸関係/交通網)、②経済的機能(生産/土地利用の機能分化/流通・交換・商業/分業)、③思想・社会的機能(自然界に対する人間界優位の確立/社会の緊密化)、④精神的機能(慣習/文字/仏教/法/儒学/礼)に整理し、諸国とのネットワークの形成と国家成立の関係を描く。

①**政治・軍事的機能** 第一章で五・六世紀における東アジア世界の戦争と外交の実像を、第五章で七世紀後半の「唐・新羅戦争」前後における新羅と倭国の国制改革について考察。

②**経済的機能** 第二章・第三章で西日本に構築された交易ネットワークについて、継体天皇の史的意義とあわせて詳述。

③**思想・社会的機能** 第六章で八世紀前半の律令制国家が設置した高麗郡の様態について検討。

④**精神的機能** 付論1で律令制国家の胎動期における渡来系移住民(渡来人・帰化人)の諸相を整理・分析。第四章では天智朝における天皇発願寺院の創建と正史の関係を探る。付論2では『令集解』に見える明法家諸説に関する研究史を整理し、律令制国家の始動期から活躍した法律の専門家たちの史的意義と、律令受容の実相を概観。第八章では渤海国王宛慰勞詔書に記された〈斗牛〉という語句の思想的背景を追求した。付論3では高校における朝鮮史教育の展望を検討する中で、ユーラシア大陸東部の交易ネットワークという視座がどのように取り扱われているのかを確認。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【目次】

序章 問題の所在

一 古代国家形成と〈交通〉／二 石母田正の「交通」／三 妹尾達彦氏のグローバル・ヒストリー／四 ブローデル／五 本書の構成

第一章 五・六世紀の国際関係像

一 分析の対象・内容と視点／二 五世紀に相当する『日本書紀』の外交記事①—朝鮮側の史料との比較—／三五世紀に相当する『日本書紀』の外交記事②—『百濟記』について—／四 六世紀に相当する『日本書紀』の外交記事—「任那日本府」を中心に—／五 『古事記』の外交記事／六 結語

付論1 渡来系移住民—普遍的価値・技術を担った人々—

一 帰化人と渡来人／二 五世紀の渡来系移住民／三 六世紀の渡来系移住民／四 七世紀の渡来系移住民／五 八・九世紀の渡来系移住民

第二章 継体天皇と琵琶湖—淀川水系

問題の所在／一 継体天皇関連遺跡／二 継体天皇の血縁関係—近江息長氏を中心に—／三 継体天皇の三宮と淀川水系の港津／四 琵琶湖—淀川水系流域の諸氏族／結語

第三章 日本海沿岸諸地域と新羅・加耶

問題の所在／一 古代日朝をめぐる伝説／二 古代日本海域の交易の実相／結語—ヤマト王権との関係—

第四章 天智朝創建寺院と正史

問題の所在／一 朱鳥元年の「五寺」と大宝年間「四大寺」の創建記事／二 天智朝の寺院建設記事の特徴／三 法隆寺西院伽藍の創建と上宮王家所有の名代／四 舒明—天智系寺院の伽藍配置／結語

第五章 唐・新羅戦争前後の新羅と倭国

問題の所在／一 「白村江の戦い」前後の倭国／二 百濟滅亡後の新羅／三 「唐・新羅戦争」後の新羅／四 「白村江の戦い」後の倭国／結語

第六章 高麗郡建郡の背景

問題の所在／一 高麗郡関係史料と高麗王若光／二 建郡前後の高麗郡—考古学的視点から—／三 高麗郡建郡と新羅郡建郡／四 高麗郡・新羅郡の建郡と武蔵守・入間郡領／五 朝鮮系三郡と仏教／結語—高麗郡建郡の史的意義—

付論2 『令集解』の注釈書

一 問題の所在／二 『古記』について／三 『令釈』について／四 『跡記』について／五 『穴記』について／六 『讃記』について／七 『朱記』について／八 『令集解』注釈書をめぐる論争の特徴と今後の課題

第七章 承和度遣唐使発遣と遣新羅使紀三津

問題の所在／一 承和度の遣唐使出国までの経緯—小野篁と紀三津を中心に—／二 遣新羅使紀三津の帰朝記事／三 執事省牒の諸問題／四 小野篁と『続後紀』編者の春澄善繩の関係／結語

第八章 渤海国王宛慰勞詔書の〈斗牛〉

問題の所在／一 〈斗牛〉についての辞典類の説明／二 「北斗七星」「牽牛星」「斗宿」「牛宿」／三 「禰軍墓誌」の「牛斗」の検討／四 蘇軾「前赤壁賦」に対する解釈／結語

付論3 高校における朝鮮史教育の展望—前近代を中心に—

一 問題の所在／二 新学習指導要領における歴史系科目／三 朝鮮史教育の可能性／四 朝鮮史研究と朝鮮史教育／五 教育現場のトレンド／六 総括と若干の補足

終章 総括

一 問題の所在／二 各章の結論と課題／三 日本古代の都城と王都（ミヤコ）

あとがき／索引

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	中野高行著／八木書店刊	2023年12月20日刊行予定	取扱店（番線印）
	古代日本の国家形成と東部ユーラシア〈交通〉〔 〕冊		
	ISBN978-4-8406-2269-1 C3021 ¥9000E 定価 9,900円（本体 9,000円＋税 10%）		
	お名前（ふりがな）	TEL	
ご住所 〒	FAX		
	E-MAIL		

キリシタン版日本語文法の嚆矢 原典初版刊行450年記念、初の全訳！

天草版ラテン文典 巻一 全訳

【編者】

カルロス・アスンサン (ポルトガル、トラーズ・ウズ・モンテス・イ・アルト・ドウロ大学人文社会学部長)

黒川茉莉 (上智大学大学院博士後期課程、日本学術振興会特別研究員 (DC2)、国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員)

豊島正之 (上智大学名誉教授)

2023年9月25日刊行 定価 10,780円 (本体 9,800円 + 税 10%)

B5判・上製・カバー装・330頁 ISBN978-4-8406-2270-7 C3016 ¥9800E

● 原典はイエズス会の標準文法書となった名著

「天草版」(1594)の原典は、マヌエル・アルバレス原著「ラテン文典」(1572年初版)。イエズス会の標準文法書となって、版を重ねた名著で、10年後のロドリゲス「日本大文典」(1604)にも、名指しで引用される。

● 諸本を精査した綿密な初の全訳・全訳

「天草版」は、日本イエズス会が、このイエズス会標準文法に、日本語記述を加えたもの。今回が、その日本語記述部分(巻1)の初の全訳・全訳。原典アルバレス「ラテン文典」の、大文典・小文典の二系列の諸本の精査に基づく、綿密な注釈。

● ラテン語本文の構造がわかる訳・翻刻

英訳・和訳ともに、ラテン語本文の構造が明らかになるような直訳を宗として、読者がラテン語原文を直接参照することを容易にした。ラテン語原文を直接参看したい読者のために、ラテン語の解釈翻刻には、格の認定に関わる母音の長短を、単数主格 *particula* / 単数奪格 *particulā* のように明記して、解説に資した。

● 日本語学史資料として読み直すために

準体の初の記述(直説法の不定法化と説明)を持つ等、日本語学史資料としての再検討に値する。原文は、ラテン語・ポルトガル語で、従来は参照に難があったが、本全訳が、「天草版ラテン文典」を、日本語学史資料として読み直すことを、より容易にするであろう。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【見本組】

ラテン語の翻刻本文を左ページに、英語訳・日本語訳本文を右ページに配置。見開きで対照できるようにした。

【ラテン語本文の翻刻】

【英語訳・日本語訳】

[18v] — [19v]

① Futurum, vel potius modus mandatiuus, siue legitimus, hoc est quo praecipue mandata, praecepta, legesque dantur

Amato tu, vel, amabis	Nangi	Vomō bexi	思うべし	Amarās tu
Amato ille, vel, amabit	Are			Amarā elle
Pluraliter Amato te, vel, amabitis	Nangira			Amareis vos
Amanto, vel, amabunt	Arera			Amarām elles

② Amat, addita o, fit amato, sic in caeteris coniugationibus. [18v]

③ Circa voces lapponicas imperatiui illud imprimis adnotabis, Vomoye 思え、Agueyo 上げよ、Yome 読め、fere nunquam primis personis adhaerere, sed secundis duntaxat: im tertiis vtimir eisdem cum particula To et, vt Vomoyeto 思えと: deinde futurum indicatiui omnibus personis inseruit, vt,

④ Yza saraba namida curaben fototoguisu いざさらば、涙比べん、ほとどぎす、Varemo vjyoni neuo nomizo naqu 我も憂き世に、音をのみぞ啼く、Hoc est, Agē lachrymas conferamus, etc. Cum vero prohibemus, ne facias, ne feceris, ne dixeris, eleganter vtimir futuro negatiuo indicatiui, vt Subecarazu すべからず、yūbecarazu 言うべからず、suru coro arubecarazu する事あるべからず: deinde propriis vocibus Suruna するな、suru coto nacare する事勿かれ、xezare せざれ、yuazare 言わざれ、etc.

⑥ Optatiui modi tempus praesens, et imperfectum

Vtinam amarem	Vare	Auare vomoyecaxi, Arurua, gana	あわれ思えかし・がな	Oxala amara eu, ou amasse
Amares	Nangi			Amaras tu, ou amasses
Amaret	Are			Amara elle, ou amasse
Pluraliter Vtinam amaremus	Varera			Oxala amaramos nos, ou amassemos
Amaretis	Nangira			Amareis vos, ou amasseis
Amarent	Arera			Amaram elles, ou amassem

⑦ Ama, addita rem, ab eadem persona imperatiua fiunt docerem, legerem, audirem.

Praeteritum perfectum

Vtinam amauerim	Vare	Vomōtarōniua, Arurua, Vomōtaraba yocarō monouo	思うたらうには・思うたらばよからうものを	Queira Deos que tenha eu amado, ou oxala amasse eu
Amaueris	Nangi			Que ten*has tu amado
Amauerit	Are			Que tenha elle amado

[19v]

Pluraliter Vtinam amauerimus	Varera			Queira Deos que tenhamos nos amado
Amaueritis	Nangira			Que tenhais vos amado
Amauerint	Arera			Que tenham elles amado

⑧ Amai, i in e et addita rim, sic in caeteris.

29

62

[18v] — [19v]

① Futurum, vel potius modus mandatiuus, siue legitimus, hoc est quo praecipue mandata, praecepta, legesque dantur. ② Amat, addita o, fit amato, sic in caeteris coniugationibus. ③ Circa voces lapponicas imperatiui illud imprimis adnotabis, Vomoye, Agueyo, Yome, fere nunquam primis personis adhaerere, sed secundis duntaxat: im tertiis vtimir eisdem cum particula To, vt Vomoyeto: deinde futurum indicatiui omnibus personis inseruit, vt, ④ Yza saraba namida curaben fototoguisu, Varemo vjyoni neuo nomizo naqu. Hoc est, Agē lachrymas conferamus, etc. ⑤ Cum vero prohibemus, ne facias, ne feceris, ne dixeris, eleganter vtimir futuro negatiuo indicatiui, vt Subecarazu, yūbecarazu, suru cor'o arubecarazu: deinde propriis vocibus Suruna, suru coto nacare, xezare, yuazare, etc. ⑥ Optatiui modi tempus praesens, et imperfectum ⑦ Ama, addita rem, ab eadem persona imperatiua fiunt docerem, legerem, audirem. ⑧ Amai, i in e et addita rim, sic in caeteris.

① Future, or rather commanding or legal mood; here are given [examples] mainly of what is commanded, prescribed, and legal. ② To amat, o is added, and it becomes amato; like this and in the other conjugations also. ③ About the Japanese imperative forms, you may note this at first: Vomoye (think), Agueyo (raise), Yome (read), are virtually never attached to the first-persons, but only to the second [persons]: in the third [persons] we use the same form with the particle To (that), like Vomoyeto (think), like ④ Yza saraba namida curaben fototoguisu (Let me compare tears, Cuckoo), Varemo vjyoni neuo nomizo naqu (I also cry in this gloomy life). That is Agē, lachrymas conferamus (Come on, let's compare our tears), etc. ⑤ When we prohibit something, like "don't do that", "never do that", "don't say so", we elegantly use a future negative of the indicative forms [of Japanese], like Subecarazu (will be prohibited to do so), yūbecarazu (will be prohibited to say so), suru coto arubecarazu (will be prohibited doing so): and then, the proper forms are Suruna (don't do it), suru coto nacare (never do it), xezare (refrain from doing it), yuazare (refrain from saying it), etc. ⑥ The present tense and imperfect of the optative mood ⑦ To ama, rem being added. Like this, out of the personal imperatives become docerem, legerem, audirem. ⑧ Amai, i to e, and rim is added, like this in others.

① 未来形は、要求法・規程法でも言うべきで、ここで上げる例も、命令されるもの、規程にあるもの、法的なものが主である。② amat に o を付けると amato になる。他の活用形でも同様。③ 日本語の命令形に関して、最初に挙げられるのは「思え」「上げよ」「読め」(のようなもの)で、これらは一般的に減多に一人称に使われることはなく、二人称にのみ用いられる: 三人称には(日本語の小辞「ト」を用いる。例:「思へト」)。そして直説法未来形を全ての人称に使用する。④「いざさらば、涙比べん、ほとどぎす、我も憂き世に音のみぞ啼く」即ち、(ラテン語)「さあ、一緒に涙を比べようではないか」[一人称複数形]等。⑤我々が、「それをするな」「決してそれをするな」「それを言うな」と何かを禁じる時、エレガントには、(日本語)直説法未来の否定形を用いる。例:「するべからず」「言うべからず」「する事あるべからず」: 然し乍ら、本来の語形は「するな」「することなかれ」「せざれ」「言わざれ」等である。⑥希求法現在・未完了過去⑦ ama に rem を付ける。同様に、人称命令法から docerem, legerem, audirem が得られる。⑧ amai の i を e に変えて rim を付ける、他も同様。

① Future as *modus mandatiuus* comes from Diomedes. (13v (p.41)) ④ This example is meant to be an example of the indicative future [of Japanese] as a mandative. The Latin translation puts it in the first-person plural. ⑤ *eleganter* (elegantly) means that the usage is not contemporary or entirely legitimated, but is supported by good authors (e.g. archaic). Sánchez Salor, Eustaquio (2010) El concepto de elegancia de la lengua en el Renacimiento. (F. Lisi (2010) Tradición clásica y universidad, Madrid)

① 未来形に要求法を認めるのは、Diomedes 由来。④ この用例は、直説法未来形(比べん)が要求法に相当する例として掲げたもので、ラテン語は一人称複数命令法。⑤ *eleganter* (エレガント)とは、当代としては破格でも、権威ある著作に典拠のある用法(古格等)を指す。Sánchez Salor (2010)。ここでは、ベシ・ナカレの様な漢文訓読体を「エレガント」と称し、スルナ・セザレ等を *proprius* (本来の)、つまり当代の語法として示したものの。

63

【編者の豊島正之先生による、書き下ろし Web コラム】

イエズス会が刊行した文法書を読むー『天草版ラテン文典巻一全釈』刊行の弁ー

編者である豊島正之先生が、函版を交え、本書刊行の意義を語ります。

<https://company.books-yagi.co.jp/archives/9019>



【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

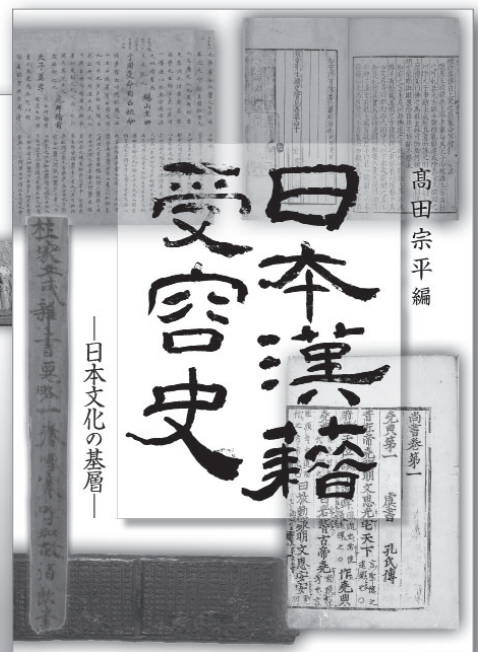
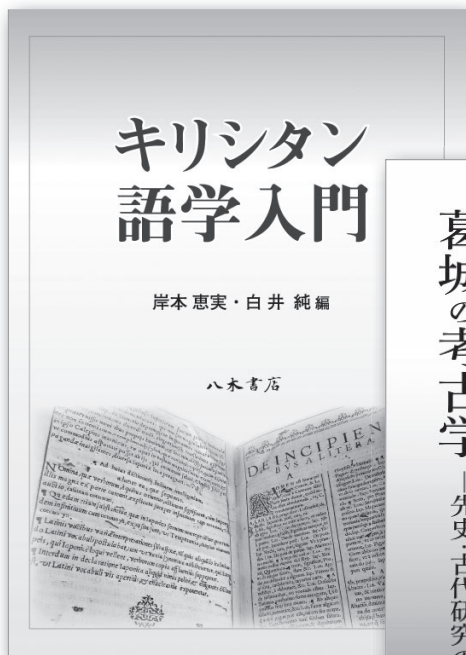
申込書	カルロス・アスンサン／黒川茉莉／豊島正之の編 八木書店刊 2023年9月25日刊行	取扱店 (番線印)
	天草版 ラテン文典 巻一全釈 [] 冊	
	ISBN978-4-8406-2270-7 C3016 ¥9800E 定価 10,780 円 (本体 9,800 円+税 10%)	
	お名前 (ふりがな)	TEL
ご住所 〒	FAX	
	E-MAIL	

八木書店出版図書目録

—日本語・古代・中世—

ダイジェスト

【2023年9月】



★各書目のQRコードから詳細情報にアクセス！

【ご注文方法】最寄りの書店または小社までお申込みください。
小社ではメール・電話・Fax・Webサイトでご注文を承ります。

※本目録の表示価格は税別の本体価格です。



八木書店



〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

【Tel】03-3291-2961 (営業) / 03-3291-2969 (編集)

【Fax】03-3291-6300 【E-mail】pub@books-yagi.co.jp

【Web】<https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

キリシタン関係・日本語史

岸本恵実・白井純編

キリシタン語学入門

きりしたんごがくにゅうもん
ISBN978-4-8406-2245-5
B5判 168頁 本体2,500円

キリシタン時代の文語・口語を知る教科書、誕生！理論編で基礎知識を習得し、実践編で文献を読み進める。大学生・大学院生が研究テーマを見出し、レポートや論文の執筆につなげられるように構成。豊富な図版・付録・コラム・用語説明で理解を深める、豊潤な言語学入門。(2022.3)

丸山 徹著

キリシタン世紀の言語学

きりしたんせいきのげんごがく だいこうかいじだいのごがくしょ
ISBN978-4-8406-2244-8
A5判 376頁 本体12,000円

【好評につき重版】キリシタン版のことば、ポルトガル語からのアプローチ。400年前にカトリック宣教師が日本での布教のために出版した日本語の語学書について、ポルトガル語で書かれた自筆本とキリシタン版（版本）を克明に対比。キリシタン語学書にポルトガル語の側から光を当て言語学的に解明。(2020.7)

中野 遙著

キリシタン版 日葡辞書の解明

きりしたんぱん にっぽじしよのかいめい
ISBN978-4-8406-2242-4
A5判 258頁 本体10,000円

「引く」日葡辞書から、「読む」日葡辞書へ。日葡辞書はなぜ全体の4分の1が「補遺」なのか。なぜ序文を2度重ね刷りしたのか。全編ローマ字の日葡辞書で、イッシン（一親、一身、一心）を書き分けた方法は、日本語学のみならず、版本書誌学・文献学にも示唆・新見に富む論考と、書下ろしコラムを収録。(2021.3)

エリザ・タシロ／白井純編

リオ・デ・ジャネイロ 日葡辞書

りお・で・じゃねいろうこくりつとじよかんぞう にっぽじしよ
ISBN978-4-8406-2234-9
B5変形判 868頁 本体60,000円

2018年、中南米大陸ブラジルで初めて発見された日本のキリシタン版辞書を、高精細・原寸カラー版で初公開！日本語にポルトガル語で注釈を付した日葡辞書は、日本語学とポルトガル語学にとって第一級の言語資料だけでなく、日本文学研究と日本史研究、更に日本・欧州・中南米交流史の重要資料となる。(2020.3)

翻刻・解説：カルロス・アスンサン 豊島正之

天草版 ラテン文典

あまくさばん らてんぶんてん
ISBN978-4-8406-2085-7
B5判 652頁 本体30,000円

ラテン文法の枠組による初の日本語文法書！1549年刊行のキリシタン版（エボラ公共図書館所蔵原本）を新オールカラーで影印。誤植・不鮮明箇所の補読を行い、漢字・仮名表記を補って本文を翻刻。さらに最新の知見による解説を付す。日本語学・言語学・日欧交渉史・宗教史・印刷史等に必携の基本資料。(2012.8)

ハーバード大学ホートン図書館所蔵 折井善果・白井純・豊島正之積文・解説

ひですの経

ひですのきょう
ISBN978-4-8406-2084-0
B5判 392頁 本体23,000円

1611年に長崎で刊行された孤本キリシタン版を高精細カラー版で影印！キリシタン版の初期は西欧渡来の活字、後期には日本初鑄造の金属活字を使用した。本書では更に木活字で補填された実態が判明。日本語・日本文学、宗教・思想史、書誌学、文化史等々、様々な研究分野に進展をもたらす新出資料！(2011.11)

C・R・ボクサー原著／高瀬弘一郎訳

キリシタン世紀の日本

きりしたんせいきのにほん
ISBN978-4-8406-2238-7
A5判 728頁 本体15,000円

イギリスの歴史学者C・R・ボクサーのキリシタン通史の名著を日本語翻訳。葡・西・蘭・仏・日など諸国語の膨大な原史料と研究を読み解き、キリシタン時代の日本を世界史的な視野から俯瞰し、大航海時代の日本におけるカトリック布教を通史的に著述した名著が、日欧交渉史の泰斗による日本語翻訳版で初刊行！(2021.6)

高瀬弘一郎著

キリシタン時代のコレジオ

きりしたんじだいのこれじお
ISBN978-4-8406-2211-0
A5判 832頁 本体15,000円

イエズス会の教育機関で何が行われていたのか？虚と実の交錯したキリスト教布教の真実！府内・天草・長崎等の各地に作られたキリスト教イエズス会の聖職者養成機関「コレジオ」の知られざる実態を、海外の原史料を博捜・読解して明らかにする。(2017.7)

高瀬弘一郎著

新訂増補 キリシタン時代対外関係の研究

きりしたんじだいたいがいかんけいのけんきゅう
ISBN978-4-8406-2212-7
A5判 768頁 本体16,000円

日欧交渉史第一人者の名著を増補し、新稿3本を加えて待望の復刊。海外に所在するカトリック教会の同時代史料を博捜し、教会が一翼を担った海上貿易、商人、通貨、送金、為替、利子、教会と権力者に焦点をあて、キリスト教教会の本音と建て前を解明。全編に渡り加筆訂正し、新稿3本を加える。(2017.7)

高瀬弘一郎訳註

大航海時代の日本 ポルトガル公文書に見るだいかうかいじだいのにほん
ISBN978-4-8406-2071-0
A5判 770頁 本体15,000円

【ジョアン・ロドリゲス賞受賞】奴隷・暴君秀吉・孤児基金の流用—ポルトガル国王の見た戦国時代の日本とは？ “異教国”日本に関する難解な古ポルトガル語文書に現代語訳と詳細な注を付す。信長・秀吉・家康が活躍した1520年から1620年までの171通を収録。詳細索引付き。(2011.2)

高瀬弘一郎訳註

〔OD版〕モンスーン文書と日本 17世紀ポルトガル公文書集もんすーんもんじよとにほん
ISBN978-4-8406-3454-0
A5判 658頁 本体15,000円

【第5回徳川賞受賞】日本を中心とした東アジアの国際環境についてポルトガル国王が生々の声で語る。膨大なモンスーン文書（ポルトガルの文書館所蔵）から日本に関係する1605～21年の文書114通を現代語訳と詳細な註を付して本邦初刊行。古ポルトガル語の原文書にあたって校合し本文を確定。付詳細索引。(2006.2)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の文化と諸相きりしたんじだいのぶんかとしよそう
ISBN978-4-8406-3452-6
A5判 656頁 本体15,000円

キリシタン時代研究の第一人者が原史料を精査し論究。ポルトガル・スペインが国家事業として推進した布教と貿易に直面する日本の統一権力、セミナリオとコレジオで行われていた日本人への教育の実相、東アジアにおけるイエズス会の挫折と変容など、著者ならではの研究手法でその緊迫した実態に迫る。(2001.6)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の貿易と外交きりしたんじだいのぼうえきとがいこう
ISBN978-4-8406-3453-3
A5判 496頁 本体15,000円

キリシタン時代研究の第一人者が、欧文古文書を分析し、ポルトガル・スペイン貿易、糸割符制度の実相、日葡外交とイエズス会宣教師等々、大航海時代日欧交渉を解明。さらに鎖国の形成、マカオ・長崎間貿易等にも言及。本書と『キリシタン時代の文化と諸相』との詳細な総合索引を巻末に収録！(2002.2)

鳥津亮二著

小西行長 「抹殺」されたキリシタン大名の実像こにしゆきなが
ISBN978-4-8406-2049-9
A5判 368頁 本体4,800円

【史料で読む戦国史2】関ヶ原の敗軍の将として「抹殺」されたはずの史料を原本にあたり徹底調査、「つくられた行長」の虚像を覆す。図版を100点以上収録し、わかりやすく叙述。付録に、行長が発給した文書101通（全90頁）の翻刻を掲載。54点は原文書の写真も併載。(2010.7)

豊島正之編

キリシタンと出版きりしたんとしゅっぱん
ISBN978-4-8406-2207-3
A5判 378頁+カラー口絵8頁 本体8,000円

【日本出版学会賞受賞】日本初の金属活字による出版活動を徹底解明！ 16・17世紀日欧交渉史・思想史・技術史・出版史・言語史・書誌学の第一線の研究者が、日本イエズス会の出版・布教活動を、あらゆる角度から再考し、新たな知見を惜しみなく盛った、最新の論叢。全編書き下ろし。(2013.10)

石塚晴通編

尊経閣文庫本 日本書紀 本文・訓点総索引そんけいかくぶんこぼん にほんしよき
ISBN978-4-8406-9411-7
B5判 440頁 本体22,000円

『日本書紀』はどのように読まれたか？ 平安時代に遡り、その全貌を明らかにする。尊経閣文庫本『日本書紀』のオコト点・片仮名点・返り点を含めた釈文と、傑出したアクセント資料である古訓に加点された声点を厳密に翻刻し、訓点の総索引を附す。日本語学だけでなく文学・史学に座右の資料！(2007.8)

高橋忠彦・高橋久子・古辞書研究会編

尊経閣文庫本 桂川地蔵記 影印・訳注・索引そんけいかくぶんこぼん かつらがわじぞうき
ISBN978-4-8406-2086-4
B5判 352頁 本体20,000円

語彙を豊富に含んだ室町時代の武家の教科書として広く読まれた本書をカラーで新撮影し全文を影印。さらに索引（漢字・自立語）・訓み下し・現代語訳・注・解説を付す。飲食物・茶道具など、日常使われる語彙を列挙、日本語・芸能・風俗・宗教など広く中世社会を知るための必備資料。(2012.5)

中根勝著

〔OD版〕日本印刷技術史にほんいんさつぎじゆつし
ISBN978-4-8406-3604-9
B5判 280頁 本体12,000円

中国・韓国の印刷起源から筆を起こし、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。(2015.11)

【単行本 ◆ 歴史】

考古学

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

松田真一編

葛城の考古学—先史・古代研究の最前線—

かつらぎのこうこがく せんし・こだいけんきゅうのさいぜんせん

ISBN978-4-8406-2255-3

A5判 352頁 本体3,200円



最新の発掘調査が解明するヤマト最重要の地、葛城の通史。古代の大豪族・葛城氏の拠点であり、巨大古墳や豪族居館跡など、考古学の発掘調査により重要な発見が相次ぐ葛城の歴史を、旧石器から奈良・平安時代にかけて、最新の発掘調査から解明。現地の散策に有用な葛城の遺跡地図や口絵など図版多数。(2022.6)

渡辺一著

須恵器研究の新視角

すえきけんきゅうのしんしかく

ISBN978-4-8406-2252-3

A5判 544頁 本体11,000円



須恵器はなぜ日本で受容され消滅したのか。東アジアを中心とする世界の焼き物文化を見通しつつ、日本の古代社会を支えた須恵器の受容・生産・流通・消滅を、通史的・文化史的な観点から検討。ヘラ記号、工房論、須恵器窯の形態・系譜論のほか、武蔵国の南比企窯跡群の須恵器編年に関する論考も収録。(2022.2)

奈良県立橿原考古学研究所編

黒塚古墳の研究

くろづかこふんのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2226-4

B4判 586頁 本体32,000円



初期ヤマト王権はどのように形成されたのか。その謎を解く未盗掘の前方後円墳を徹底検証。卑弥呼の鏡ともいわれる三角縁神獣鏡等34面、大量の鉄製武具の埋葬品や竪穴式石室・木棺等、地震による崩落で盗掘を免れた当時の埋葬状況について、約500点の図版・写真をまじえB4判(364×257mm)の大判で再現。(2018.9)

奈良県立橿原考古学研究所・中国社会科学院考古研究所・山東省文物考古研究所編

鏡 範 漢式鏡の製作技術

きょうはん

ISBN978-4-8406-2079-6

A4判 388頁 本体20,000円



古代日本を解明する鏡のルーツに迫る！出土した2000年前の鏡の鋳型から、現代では再現できない古代技術を解明。近年に中国で大量に出土した鏡範(鏡の鋳型)を日中で共同調査、考古学・鋳金・工学・鉱物学の専門家が集結し、銅鏡の製作技術を徹底解明。前漢代の鏡範(鏡の鋳型)を基礎資料として提供。(2009.2)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第17

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2228-8 C3320

A4判 352頁 本体22,000円



空間・ひと・装飾の3部に編成し、考古学を中心とした諸分野の研究者が、最新の研究を踏まえた書下ろし論考33本を収録。カラー口絵に、中西遺跡の水田遺構、飛鳥宮跡出土の海老錠、興福寺跡出土の将棋駒を収録。(2018.9)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第16

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2600-2

A4判 352頁 本体18,000円



考古学を中心に、文献史学、人類学、民俗学、建築史学、岩石学など、周辺分野の専門家を交えた学際的な執筆陣の書き下ろし論考を収録。カラー口絵に「箸墓古墳赤色立体地図・西殿塚古墳赤色立体地図」を収録、卑弥呼の墓ともいわれる箸墓古墳の3次元航空レーザ計測の成果を初めて提示する。(2013.12)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第15

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2082-6

A5判 816頁 本体20,000円



武器に残る使用痕から探る弥生社会、木簡からみた上代語、中国や朝鮮半島を含む東アジアの諸問題、古墳に残された骨から探る性別、さらに近世城郭など、重要なテーマを扱った多彩な論考37本を収録。(2008.9)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第14

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN4-8406-2081-4

A5判 744頁 本体18,000円【美品なし】



大和を掘る！発掘調査の最前線より最新調査をふまえて32本の論考を収録。考古学、文献史学、民俗学等周辺分野の研究者による珠玉の論文集。三角縁神獣鏡、ミヤケ、キトラ古墳、藤ノ木古墳、飛鳥寺院、藤原京、平城京、地震考古学他、日本歴史を語る上での重要なテーマについて論究した諸論文を収録。(2003.11)

古 代

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

島根県古代文化センター編

出雲国風土記 校訂・注釈編

いずものくにふどき こうてい・ちゅうしゃくへん

ISBN978-4-8406-2262-2

A5判 740頁 本体5,000円



神々の国・出雲を描く『出雲国風土記』を精読! 歴史学・文学の研究者の最新論考を収録した「総論」、テーマごとに『出雲国風土記』を解説した「総説」、細川家本など主要7写本を参照した最良の「校訂本文」・「読み下し文」と200頁以上にわたる詳細な「補注」、[地図・写本編]と連動する便利な「本文索引」を収録。(2023.3)

島根県古代文化センター編

出雲国風土記 地図・写本編

いずものくにふどき ちず・しゃほんへん

ISBN978-4-8406-2253-0

A4判 648頁【品切】



『出雲国風土記』研究の決定版! 『出雲国風土記』にみえる地名・産物・社寺などを地図上に落とし込んだ「地図編」、細川家本など主要7写本の写真を1行ずつ並べ、校訂本文とともに提示する「写本編」、出雲国の古代交通路を復元した「特論」を収録。[校訂・注釈編]と合わせることで理解が深まる。(2022.3)

吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編

墨書土器と文字瓦 出土文字史料の研究

ぼくしよどきともじがわら しゅつどもじりょうのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2261-5

B5判 384頁 本体8,000円



地中から出土する文字史料が語る古代社会。全国の発掘調査により出土した多様な墨書土器・文字瓦を読み解き、東アジア漢字文化圏での事例など、多彩な論点から古代社会を再現した最新研究。文献史学、考古学、日本語学の研究者30名が、最新研究成果をふまえた書下ろし論考を収録。(2023.1)

上村正裕著

日本古代王権と貴族社会

にほんこだいおうけんときぞくしゃかい

ISBN978-4-8406-2259-2

A5判 544頁 本体9,000円



古代国家を運営したのはだれか。奈良・平安時代の王権を構成した太上天皇・皇后・皇太后に注目し、権力構造の変質過程を活写。王権を補完した貴族層にも注目した、新たな王権・政治史研究。恣意的になりがちな政治史研究に対して、多角的な視点から政治史を描く方法を提示。11本の最新稿収録。(2023.1)

吉村武彦編

律令制国家の理念と実像

りつりょうせいこっかのりねんとじつぞう

ISBN978-4-8406-2257-8

A5判 482頁 本体11,000円



律令制国家は何をめざし、実現したのか。律令法の施行により法治国家として整備された日本古代国家。新たな法の理念と、従来の慣習による実態とを、具体的・多角的に検証。文献史学・考古学の研究者16名が結集した最新研究。全三部(律令制以前の法と支配/律令制支配の実像/平安時代の法と実像)(2022.5)

関根 淳著

日本古代史書研究

にほんこだいいししょけんきゅう

ISBN978-4-8406-2251-6

A5判 432頁 本体9,500円



史書の分析を通して古代国家の歴史認識を読み解いた新たな史料学。天皇記・国記など、現存しない六国史以前の史書の実像を探り、古事記・六国史を再検証する。最新研究を網羅し、史書そのものについて知らなくてはならない重要ポイントを解説。歴史学はもちろん、文学や図書館学など、史書を扱うすべての分野に必読の書。(2022.5)

矢越葉子著

日本古代の文書行政 正倉院文書の形成と復原

にほんこだいのもんじょぎょうせい

ISBN978-4-8406-2240-0

A5判 434頁 本体8,000円



文書はどのように作成・保管されたのか。律令国家を動かした文書行政の実態や、正倉院文書の作成から保管に至る史料群の形成過程、さらに中国・敦煌文書との比較から、日本の文書行政の特質を解明。続々修と未修古文書目録、また大日本古文書の掲載頁を全124頁にわたる一覧で表示。(2020.12)

岩田真由子著

日本古代の親子関係 孝養・相続・追善

にほんこだいのおやかかんけい こうよう・そうぞく・ついぜん

ISBN978-4-8406-2235-6

A5判 488頁 本体10,000円



親の世話をするのはだれか。なぜ、親の供養を行うのか。親と子の関係が天皇家(王権)にどのような影響を与えたのか。古代・中世前期の親子の精神面を読み解き、王権の変質過程、「家」観念の成立、土地の権利意識の変遷など重要な論点を提示した、新たな王権・家族史研究。(2020.4)

長谷部将司著

日本古代の記憶と典籍

にほんこだいのきおくとてんせき

ISBN978-4-8406-2236-3

A5判 378頁 本体9,000円



古代人の「記憶」はどのように形成されたのか。日本古代の史書・系譜・説話・詩歌集などさまざまな典籍を検討し、作成者がどのような意図で編纂したのか、受容者はどのような認識で受け取ったのかなどの観点から、双方における「記憶」の形成や更新の実態、両者の情報格差をあざやかに明示する。(2020.4)

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編

日本書紀の誕生 一編纂と受容の歴史

にほんしょきのたんじょう へんさんとじゅようのれきし

ISBN978-4-8406-2225-7

A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした、待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載。(2018.4)

明治大学除目書刊行委員会編/田島公・末柄豊・牧野淳司・南保勝美

明治大学 三條西家本 除目書

めいじだいがくとしよかんしよぞう さんじょうにしげほん じもくしよ

ISBN978-4-8406-2248-6

B5判 344頁 本体15,000円



新発見! 平安時代・後三条天皇自撰の幻の儀式書を初公開。除目の儀式次第・作法を書いた、幻の儀式書『除秘鈔』(『院御書』の除目儀部分)の影印・翻刻・解説を付して全貌を初公開。九条家流の故実書と、室町期の地方文化ネットワークを知る紙背文書約50通も併載。(2021.5)

明治大学広開土王碑拓本刊行委員会編/吉村武彦・加藤友康・徐建新・吉田悦志

明治大学 高句麗広開土王碑拓本

めいじだいがくとしよかんしよぞう こうくりこうたいおうひたくほん

ISBN978-4-8406-2223-3

B5判 360頁 本体15,000円



4世紀の高句麗・古代日本・百濟・新羅など、東アジアを知る最重要資料の決定版! 新たに見つかった明大本2種を含む重要な拓本7種を厳選し、全拓本画像と釈文を一覧にし、拓本画像による釈文の再検証ができる。重要資料「集安高句麗碑」の解説・全文翻刻と書下ろし論考7本を併載。(2019.3)

鈴木靖民監修/高久健二・田中史生・浜田久美子編

古代日本対外交流史事典

こだいにほんたいがいこうりゅうしじてん

ISBN978-4-8406-2249-3

A5判 488頁 本体6,000円



古代日本と中国・朝鮮半島との交流の歴史について最新の研究成果をまとめた「読む事典」。日本・中国・韓国の最前線で活躍する文献史学・考古学・文学の専門家30名が、40のテーマ解説と376語のキーワードで、最新の研究成果を書き下ろした事典。27種の詳細かつ多彩な情報を付与した地図を付録。(2021.11)

水上雅晴編/編集協力 高田宗平

年号と東アジア 一改元の思想と文化

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそうとぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。(2019.4)

金子修一著

古代東アジア世界史論考 一改訂増補 隋唐の国際秩序と東アジア

こだいひがしあじあせかいしろんこう

ISBN978-4-8406-2229-5

A5判 600頁 本体11,000円



東アジア史をリードする著者が、中国を中心とした東アジア諸国の新たな世界像を提示。中国を中心に、邪馬台国・倭国、渤海、突厥、高句麗、百濟など、周辺諸国を含む古代東アジアの国際秩序を解明。旧著『隋唐の国際秩序と東アジア』収録論考11本に加筆、新稿3本と旧著未収録11本と索引を収録。(2019.2)

近藤 剛著

日本高麗関係史

にほんこうらいかんけいし

ISBN978-4-8406-2232-2

A5判 464頁 本体9,800円



これまで個別に論じられてきた日本と高麗(918-1392)の関係について、とくに等閑視されてきたモンゴル襲来以前に注目したはじめての本格的な総合的研究。正式な通交関係になかった日本と高麗を中心に、契丹(遼)・金との国際関係をも含んだ東アジア全体から俯瞰。韓国の最新研究や韓国の金石文等の成果もふまえ検証。(2019.10)

井上幸治著

古代中世の文書管理と官人

こだいちゆうせいのもんじょかんりとかんじん

ISBN978-4-8406-2213-4

A5判 480頁 本体9,000円



文書はだれが作成し、どうやって保管したのか。前近代の文書の記録と管理=アーカイブを担当した実務官人に注目し、古代から中世への移行期の実態と、中世公家政権の成立事情を明らかにする。文書のアーカイブの歴史という視点から、古代から中世にかけての朝廷政治の構造を叙述する。(2016.2)

鈴木正信著

日本古代の国造と地域支配

にほんこだいのこくぞうとちいきしはい

ISBN978-4-8406-2265-3

A5判 376頁 本体10,000円



ヤマト王権と豪族の実像とは。古墳から飛鳥時代にかけて地域を支配した国造をてがかりに、ヤマト王権の成立を解明する。国造が各地域をどのように支配したのかという問題に焦点を当て、国造制に関する最新の研究成果をまとめる。国宝『海部氏系図』の研究・翻刻を付すなど、系譜研究にも必須。(2023.8)

篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著

国造制・部民制の研究

こくぞうせい・べみんせいのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2078-9

A5判 400頁 本体10,000円



大和王権は日本列島をどのように支配したのか。古墳から飛鳥時代に、地方支配の中核を担った国造制と部民制に注目し、大和王権による列島支配の実態を、15本の論考と3本のコラムで解明する。史料編として、部民制・伴造制の文献目録・関連史料集を付す。好評『国造制の研究』に続く第二弾。(2017.10)

篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著
国造制の研究—史料編・論考編—

こくぞうせいのかんきゅう

ISBN978-4-8406-2078-9

A5判 720頁+CD1枚 本体18,000円



北は東北地方から南は九州地方まで、全国の有力豪族が任命された「国造」に関する史料を網羅。主要史料の「国造本紀」は、最古写本「卜部兼永本」を底本とし影印掲載、諸写本により厳密な校訂を加えて翻刻。さらに、膨大な研究史をまとめ、論考13本を収録した、国造制研究の到達点。(2013.5)

河内春人著

日本古代君主号の研究

にほんこだいくんしゅうごうのかんきゅう

ISBN978-4-8406-2602-6

A5判 480頁 本体9,000円



倭国王・天子・皇帝など「天皇」以外の称号は何を意味するのか？ 中国との外交交渉で名のった称号を手がかりに、古代天皇制の成立を明らかにする。倭王武—雄略天皇という通説の再検討、天智朝「称制」の意味などの諸問題に一石を投じる。中世以後の君主号、国号成立に関連するコラム4本も収録。(2015.2)

氣賀澤保規編

遣隋使がみた風景 東アジアからの新視点

けんずいしがみたふうけい

ISBN978-4-8406-2035-2

A5判 452頁 本体3,800円



遣隋使の謎に迫るはじめての書。遣隋使は7世紀のはじめに、当時の中国王朝隋に6回の使節があったとされるが、この使節の回数にも諸説あり確定していない。東洋史を中心に日本古代史、考古学の研究者による学際研究から遣隋使を再検討。特に韓国、中国等東アジアの最新成果を踏まえた待望の書。(2012.2)

中村太一著

日本古代の都城と交通

にほんこだいのとじょうとこうつう

ISBN978-4-8406-2241-7

A5判 704頁 本体9,800円



列島古代の交通や流通を分析し、人・モノ・情報が集中する都城のシステムと古代社会を解明。150点にのぼるイラスト・地図などの図表で、都城や条里・市の復原、道路の変遷や船の操作方法などを図示。電子地図を用いた国土座標値の計測やネットワーク分析、人工衛星観測データの活用など、新法を導入。(2020.10)

佐々木虔一・笹生衛・菊地照夫編

古代の交通と神々の景観—港・坂・道—

こだいのこうつうとかみがみのけいかん

ISBN978-4-8406-2263-9

A5判 560頁 本体8,500円



地方の社会・交通が生み出す祭祀の景観を復元。港湾、坂・峠・境界、道路の三施設に注目、文献史学・考古学・日本文学など多様な切り口で日本古代の交通と祭祀の実態に迫る。環境・災害・地域社会という時代の大きな流れの中で、新たな神まつりが生じていく過程を描写。(2023.5)

佐々木虔一・川尻秋生・黒濟和彦編

馬と古代社会

うまとこだいしゃかい

ISBN978-4-8406-2247-9

A5判 568頁 本体8,000円



【2021年度JRA賞馬事文化賞特別賞受賞。好評につき重版】馬はどのように渡来し、社会に浸透したのか。馬文化の渡来、生産・飼育、交通、祭祀、儀式など、古墳時代から撰関期まで、日本考古学・文献史学を中心に、動物考古学、日本文学など、隣接する諸分野と多角的に検証。(2021.5)

佐々木虔一・武廣亮平・森田喜久男編

日本古代の輸送と道路

にほんこだいのゆそうとどうろ

ISBN978-4-8406-2224-0

A5判 402頁 本体9,000円



道路が結びつける人の移動、モノの輸送、情報の伝達に注目し、古代社会を具体的・立体的に復元。防人・役夫を統率した部領使、自弁で都城に向かう運脚夫、遣唐使船の乗組員など移動する人々の実像や、交通を支えたインフラ（道路・橋・溝）の整備等、古代社会の根幹を支えた交通体系の具体像を示す！(2019.5)

鈴木靖民・吉村武彦・加藤友康編

古代山国の交通と社会

こだいやまぐにのこうつうとしゃかい

ISBN978-4-8406-2206-6

A5判 408頁 本体8,000円



山岳地域を生きた古代人の交流を探る！ 周囲を山地で閉鎖されながら活発かつ多様な交流を続けた古代の交通と、それにより形成される地域社会の編成、交通を基礎づけた古代国家による交通路の設定と政治的編成を解明。【目次】Ⅰ総論—山国の世界／Ⅱ交通の諸相／Ⅲ生業と信仰／Ⅳ山国の政治学／コラム (2013.6)

古代交通研究会編

〔OD版〕日本古代道路事典

にほんこだいどうろじてん

ISBN978-4-8406-3476-2

A4判 448頁 本体12,000円



歴史地理学、文献史学の成果はもちろん、全国各地で続けられている考古学の発掘調査をふまえ、交通関連遺構に関する最新の研究成果を、各地の調査担当者が書き下ろし執筆。古代交通関係の遺跡を網羅し一覽。多数の図を収録し、全国の道路遺跡や研究状況を総合的に把握できる事典。(2004.5)

槇道雄著

上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—

じょうこうとほうおうのれきし せんとうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

古代交通研究会編

CD版 古代交通研究 1~6号

こだいこうつうけんきゅう

ISBN4-8406-2080-6

CD1枚 954頁 本体20,000円



入手困難のバックナンバーを複製。研究史上重要な業績を残しながら長らく品切だった創刊号から第6号の全6冊をCD1枚に収録。全954ページを記事単位のPDF画像ファイルで収録。1論文を1ファイルとし、1クリックで1論文を最終ページまでプリントできる。著者名索引・書名索引付き。(2006.12)

古代交通研究会編

古代交通研究

こだいこうつうけんきゅう

第7号 (1997.11)

ISBN4-8406-2063-6

B5判 198頁 本体4,500円

第8号 (1998.12)

ISBN4-8406-2064-4

B5判 180頁 本体4,500円

第9号 (2000.1)

ISBN4-8406-2065-2

B5判 176頁 本体4,500円

第10号 (2001.2)

ISBN4-8406-2066-0

B5判 160頁 本体4,500円

第11号 (2002.3)

ISBN4-8406-2067-9

B5判 184頁 本体5,000円

第12号 (2003.5)

ISBN4-8406-2068-7

B5判 140頁 本体5,000円

第13号 (2004.5)

ISBN4-8406-2069-5

B5判 164頁 本体5,000円



【第7号目次】《共同研究 律令国家と古代道一駅路・伝路の成立》律令制形成期の往来と道制（鐘江宏之）／古代伝路の復原と問題点（木本雅康）／古代道路遺構の形態からみたその性格（近江俊秀）／七道制と駅馬・伝馬（永田英明）他

【第8号目次】《共同研究 民衆と交通》地方交通の諸相（鈴木景二）／古代東国村落の造り道（田形孝一）／大嶋郷と交通（谷口榮）／古代荘園図に描かれた道について（山口英男）他

【第9号目次】絵図・地図のなかの交通（青山宏夫）／多賀城方格地割と交通（山中章）／高知県香美郡野市町下ノ坪遺跡とその遺構について（森公章）／古代駅伝路における道代の幅員について（吉本昌弘）／日向峠越ルートについて（瓜生秀文）／他

【第10号】待望の「道路調査ハンドブック」誕生！ 諸資料に見える古代道路の痕跡からその認定方法を提示〔目次〕古代道路研究の現況（木下良）／古代道を探す（関和彦）／絵画史料にあらわれた道路（藤原良章）／地理資料にあらわれた古代駅路（中村太一）／道路遺構の変遷—規模と構造の問題を中心として—（近江俊秀）／道路遺跡の構造（山村信榮）／道路遺跡の調査方法（中山晋）他

【第11号目次】《共同研究報告 国司の旅》東国の国司と交通（川尻秋生）／地方官の交通と伝馬制（松原弘宣）／歌謡から見た国司巡行の実態（森田喜久男）／出土文字資料からみた地方の交通（平川南）他

【第12号目次】《共同研究報告 西海道の古代道》／西海道における古代官道研究史—歴史地理学の立場から—（木本雅康）／南九州の古代交通（永山修一）／佐賀平野の官道と官衙（小松讓）／南九州の道路の事例について（渡部徹也）／大宰府周辺の古代道（小鹿野亮）／西海道の古代交通（木下良）他

【第13号目次】《共同研究報告 古代の車》日本古代における交通・輸送と車（加藤友康）／車と駕籠—乗り物をめぐる意識変化—（佐多芳彦）／描かれた道・橋・車（井上尚明）／平安京・京都の道路と車（上村和直）／大和出土の車輪と轍（橋本輝彦）他

甲田利雄著

〔OD版〕平安朝臨時公事略解

へいあんちょうりんじくじりゃくかい

ISBN978-4-8406-3613-1

A5判 380頁 本体12,000円



平安朝時代の主だった臨時公事について解説。『新儀式』『西宮記』『北山抄』『江家次第』『侍中群要』『柱史抄』等の諸書より、主要な項目を拾い、従来比較的解説されることの少なかった事項に重点を置いて解説。『年中行事御障子文注解』と本書共通の索引付。(2015.11)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

改訂新版 日本古代木簡字典

にほんこだいもっかんじてん

ISBN978-4-8406-2077-2

B6判 240頁 本体2,500円



日本古代の木簡から文字を直接採用した初めての字典。新たに7世紀木簡の字も追加するなど、新編集で大幅に改訂増補。デジタル化した木簡画像から一文字ずつ抽出し、強調処理を施したため、鮮明で見やすい文字となっている。また、字形の簡便な検索を主眼とした実用的で使いやすい索引を付した。(2013.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

藤原宮木簡 三

ふじわらきゅうもっかん3

ISBN978-4-8406-2087-1 図版B4判 74プレート

+解説A5判 252頁 本体19,000円



藤原宮跡の東面北門付近より出土した木簡611点を原寸大で高精細影印！ 詳細な解説・釈文を付し初公刊。宮内省・中務省とその被管官司にかかわる木簡が多く、文書木簡や、王家との深い関連が見て取れる記載に富む。大宝律令成立前後の律令国家成立史を考える上で極めて重要な意味をもつ史料群である。(2012.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

平城宮木簡七

へいじょうきゅうもっかん7

ISBN978-4-8406-2045-1 図版B4判 182プレー
ト+解説A5判 552頁 本体29,000円

平城宮の中枢部である第一次大極殿院周辺より出土した木簡1617点を原寸大で高精細影印！ 詳細な解説・釈文を付し、38年間（1965～2002）にわたる発掘成果を初公開。平城遷都直後から奈良時代末期までの70年に及ぶ多彩な収録木簡は、古代8世紀の歴史、社会、文化の研究に必備の基本史料。（2010.4）

西本昌弘校訂

新撰年中行事

しんせんねんちゅうぎょうじ

ISBN978-4-8406-2043-7
A5判 264頁 本体10,000円

平安中期の公卿、藤原行成が著した幻の書「新撰年中行事」を、東山御文庫本の調査で発見された伝本により精確に翻刻。新出史料の全貌を初公開。同時期に成立した年中行事書「小野宮年中行事」などと比べて3倍もの圧倒的な行事項目数を誇る等、知られていなかった平安時代中期の実態を知る貴重本。（2010.8）

渡辺滋著

古代・中世の情報伝達

こだい・ちゅうせいのじょうほうでんたつ

ISBN978-4-8406-2053-6
A5判 450頁 本体10,000円文字と音声・
記憶の機能論

古代・中世社会を動かしたのは文書ではなく音声だった！ 「音声」で伝達された情報を文献から抽出、「文書による国家支配が徹底していた」という古代史の常識を覆す。帳簿、譲状や偽文書などの史料から「音声」を復原するという新しい切り口で再検討、音声と文字とが併存して補い合った実態を示す。（2010.10）

中村友一著

日本古代の氏姓制

にほんこだいのしせいせい

ISBN978-4-8406-2036-9
A5判 336頁 本体9,800円

「氏姓」に残された日本古代の姿を解明！ 戦後に華族制度が廃止されるまで日本人の出自意識に影響を与えた氏姓の根源を探る。氏姓の制度＝「氏姓制」は、天皇による支配のために6世紀初頭に成立した日本独自の制度であったことを論証。（2009.5）

三船温尚・奥健夫編

国宝 蟹満寺釈迦如来坐像

こくほう かにまんじしゃかによらいざぞう

ISBN978-4-8406-2083-3
A4判 248頁 本体25,000円古代大型金銅
仏を読み解く

白鳳から天平にかかる数少ない古代大型金銅仏はいつどうやって造られたか。薬師寺像との先後関係など、仏教美術史に再検討を促す、彫刻史上の傑作のなぞに迫る。仏教美術史、鑄造技術史、金属材料学、考古学、年代測定、3次元レーザー計測、蛍光X線成分分析など、700点の図版をまじえ多角的に調査。（2011.12）

小右記講読会発行（黒板伸夫監修・三橋正編）

『小右記』註釈 長元四年(1031)

しょうゆうきちゅうしゃく

ISBN978-4-8406-2032-1
A5判 2冊組 1508頁 揃本体24,000円

右大臣藤原実資の日記『小右記』のうち、長元4年分に書下し文と詳細な註釈を付し刊行。同年の『左経記』書下し文も併録する。両書とも、写本からの厳密な翻刻を行ない、その原文を付ける。詳細な註釈と解説を施し、それらの語句は索引で引くこともでき、『古記録語辞典』としての利用価値も大きい。（2008.9）

達日出典著

八幡宮寺成立史の研究

はちまんぐうじせいりつしのけんきゅう

ISBN4-7971-0740-5
A5判 474頁 本体12,000円

古代より、ほぼ奈良時代の豊前国宇佐における八幡宮寺の成立に関し、先行研究を踏まえ、諸史料を博搜して問題点を考察する。著者は、現地踏査を繰り返し、伝承や文献の内容を分析し、原初信仰・八幡神顕伝承の系統分析と変遷を中心に八幡宮寺の成立について4編12章の構成に基づき考察を加える。（2003.3）

佐野大和著

呪術世界と考古学

じゅじゅつせかいとこうがく

ISBN4-7971-1504-1
A5判 456頁 本体8,252円

大場磐雄博士が開拓・体系づけた神道考古学は、古代社会の習俗の復元と、その習俗の基底をなす古代日本人の信仰の研究を目的とする。本書には、大場博士の研究を一步進め、縄文・弥生以来の古代の習俗・信仰の中から醸成された古代神道生成の過程を考古学的に追求する論文24編を所収。（1992.7）

米田雄介著

歴代天皇の記録

れきだいてんのうのきろく

ISBN4-7971-0484-8
B6判 226頁 本体1,748円

平安時代の宇多天皇から江戸時代末の孝明天皇までの歴代天皇の記録について書誌的な立場から概説する。あわせて明治天皇紀の附図の制作に関するものを整理した。長年宮内庁書陵部に在職し、皇室の研究に従事された著者ならではの解説。古代から近代にいたる天皇家の記録に関する入門書として最適。（1992.5）

甲田利雄著

年中行事御障子文注解

ねんじゅうぎょうじごしょうじもんちゅうかい

ISBN4-7971-0525-9
A5判 424頁 本体10,000円

光孝天皇の仁和5年（885）に太政大臣藤原基経によって献ぜられたという『年中行事御障子文』に基づき、平安期の公事関係書をはじめ広く諸文献を検証して、平安期の恒例の公事の本源ならびにその実態を解明した。平安文学・平安時代史研究の手引書。（1976.3）

渡辺直彦編

古代史論叢

こだいしろんそう

ISBN4-7971-0655-7

A5判 372頁 本体8,000円



駒沢大学教授渡辺直彦氏を中心に、日本・中国の古代史専攻の中堅および新進気鋭の研究者による論文集である。執筆者の各分野の論文10編を収める。このうち、渡辺直彦氏の『『小右記』八の対校範囲と校合』は、『大日本古記録 小右記 訂正一覽』を補充し、写本の対校範囲にも校訂が加えられた力作。(1994.7)

槇道雄著

院政時代史論集

いんせいじだいしろんしゅう

ISBN4-7971-0652-2

A5判 432頁 本体9,515円



院政政権に関する著者の研究の集大成。一般に院政時代とは、後三条から鳥羽・後白河をへて、後鳥羽上皇にいたる時代をさす。本書では、院政時代という時代区分を設定して、院政の実態追究を中心課題とし、鳥羽院政を考察し、その前後の時代をも含めて考究する。院政史研究者必読の書となる。(1993.4)

槇道雄著

院近臣の研究

いんきんしんのけんきゅう

ISBN4-7971-0735-9

A5判 328頁 本体8,000円



造寺・造仏、各種修法・儀式が著しく発展し、文化史上各種和様の確立期と見られる院政時代。本書では、この時代の政治主導・文化形成に大きな役割を演じた院近臣層の動向を中心に、前著『院政時代史論集』に続く研究成果をふまえ、当該期の諸問題を追究、解明しようとする好論八編を収録した。(2001.11)

詫間直樹編

新皇居行幸年表

しんこうきょぎょうこうねんぴょう

ISBN978-4-8406-2258-5

A5判 624頁 本体11,000円



天皇の皇居・行幸一覽の決定版、25年ぶりの増補改訂！神武天皇から幕末の孝明天皇まで、歴代天皇の居所、移徙・行幸先を編年で提示。『皇居行幸年表』（続群書類従完成会、1997年）所収部分（桓武～後醍醐天皇）は新出史料情報を追加するなど増補改訂。天皇の移動を通史的に把握できる必携の座右の書。(2022.4)

高田宗平編

日本漢籍受容史—日本文化の基層—

にほんかんせきじゅうようし にほんぶんかのきそう

ISBN978-4-8406-2260-8

A5判 698頁 本体9,000円



前近代の日本を理解するために、漢籍を知る！ 清朝以前に中国人が漢文（漢語）で撰した書物＝漢籍。あらゆる知識・情報の根源となった漢籍は、どのように受容され、日本文化に根付いたのか。漢籍に関わる様々な分野の研究者が最新論考を寄稿し、前近代の漢籍受容の歴史を学際的・通時代的に解明した、初の学術書。(2022.11)

水上雅晴編／編集協力 高田宗平

年号と東アジア—改元の思想と文化—

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそウトぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。(2019.4)

飯倉晴武・田島公編

弁官補任

べんかんぶにん

全3冊・完結

①ISBN978-4-8406-2237-0 (2020.4)【新訂増補版】

A5判 384頁 本体15,000円

②ISBN978-4-8406-3109-9 (1982.7)【OD版】

A5判 260頁 本体8,000円

③ISBN4-7971-0530-5 (1983.9)

A5判 282頁 本体5,200円



*長らく品切れで、重版の俟たれていた第1巻を、このたび新たな底本を使用し、38年の歳月をかけ、最近利用できるようになった諸史料によって出来る限り補足し、版面もすべて新しく組み直した。今回の新訂増補版では、現存最古の写本であり、最善本である広橋家旧蔵本「弁官補任」（国立歴史民俗博物館所蔵）を底本とし、出来るだけ広橋本を忠実に再現した（旧版の底本は、山科家旧蔵本、宮内庁書陵部所蔵）。さらに陽明文庫所蔵の「勘例」、宮内庁書陵部所蔵伏見宮家本「弁官叙任勘例」、等によって補った。

左右弁官の官・位階・氏名を年ごとに列挙し、各人の下に任日・兼官・叙任の記事を注した補任次第書である。これまで、群書類従巻45（寛弘7年～建久8年）と続々群書類従所収分（建久9年～享和3年）が刊行、利用されてきたが、新たに内閣文庫所蔵の「弁官補任補欠」（和学講談所本、大宝元年～嘉吉3年）及び宮内庁書陵部所蔵の「弁官補任」（山科家本寛和3年～文化14年、柳原家本寛和3年～文政9年、壬生家本安永8年～天保15年）の四本を、それぞれ内閣文庫本大宝元年～寛和2年迄、山科家本寛和3年～文化14年迄、柳原家本文化15年～文政9年迄、壬生家本文政10年～天保15（弘化元）年迄の底本とし、日本書紀を除く六国史及び日本逸史・類聚国史・公卿補任等により補足した。また弘化2年以降は、底本が無い場合、公卿補任・補歴・諸家譜等により新たに編集し、大宝元年（701）より明治2年（1869）までを通して校訂、刊行するものである。なお、利用者の便宜をはかるために、3巻巻末に弁官補任系図と詳細な人名索引を付す。

中世

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

岩橋小弥太・齋木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂
園太暦

えんたいりやく

全8冊・既刊①-⑦

A5判 平均427頁、揃2,986頁

①~④各巻本体13,000円、⑤~⑦各巻本体8,000円

揃本体76,000円

① ISBN978-4-8406-3001-6 本体13,000円(1970)[OD版]

② ISBN978-4-8406-3002-3 本体13,000円(1971)[OD版]

③ ISBN978-4-8406-3003-0 本体13,000円(1971)[OD版]

④ ISBN978-4-8406-3004-7 本体13,000円(1971)[OD版]

⑤ ISBN4-7971-0314-0 本体8,000円(1973)

⑥ ISBN4-7971-0355-8 本体8,000円(1985)

⑦ ISBN4-7971-0356-6 本体8,000円(1986)



南北朝時代、北朝の重鎮として太政大臣に任じ、武家の推尊も受け、南朝の厚き信望をもになった洞院公賢(1291-1360)の日記。動乱の世相と政局の機微を描いて精彩に富み、古来名記の一つに数えられる。公賢は、学殖においても当代に並ぶ者なく、古典・旧規に通じ、その著述は、故実典札の典拠とされている。本記は、現存する正記に新出写本、逸文等を加え、現段階での『園太暦』本文の完璧を期するもの。新刊の巻五以降は史料纂集古記録編(本図書目録20頁参照)所収。

【収録】①1311 [応長元]~1346 [貞和2]・洞院系図

②1346 [貞和2]~1348 [貞和4]

③1349 [貞和5]~1351 [観応2]

④1351 [観応2]~1354 [文和3]

⑤1355 [文和4]~1356 [延文元]

⑥1357 [延文2]~1359 [延文4]

⑦1360 [延文5]~1311 (応長元年正記園太暦目録)

満濟准后日記

まんざいじゅごうにつき

全2冊・完結

続群書類従補遺1上下

揃1,206頁

[オンデマンド版] A5判 揃本体19,000円

[通常版] B6判 揃本体10,000円

(上) 544頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3213-3 本体9,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0110-5 本体5,000円(1928)

(下) 662頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3214-0 本体10,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0111-3 本体5,000円(1928)



室町時代黒衣の宰相と称された満濟の応永18年(1411)から永享7年(1435)の日記。満濟は権大納言今小路師冬の子で、後に室町將軍家足利義満の猶子となり、醍醐寺三宝院賢俊の室に入って得度した。応永2年醍醐寺座主に補してより東寺長者・四天王寺検校を歴任し、この間法印に叙し、大僧正に任じ、応永35年には准後の宣下をうけている。満濟は賢俊の後をうけて室町將軍家に重用され、特に義持・義教の信任あつく、政務についてしばしば重要な献策をし、その権威は甚だ高かった。したがって本日記は単なる僧侶の日記というよりも、むしろ室町時代初期に於ける幕府側近者の日記の観があり、長年月に亘るその詳密にして正確な記事は政治史研究の重要資料として著名である。

【収録】(上) 1411 [応永18]~1428 [正長元]

(下) 1429 [正長2]~1435 [永享7]

満濟准后日記研究会編

満濟准后日記 人名索引

まんざいじゅごうにつき じんめいさくいん

ISBN978-4-8406-2074-1

A5判 440頁 本体11,000円



室町期研究の基本史料『満濟准后日記』(続群書類従本)の人名索引。本文の講読から20数年の歳月をかけ、可能な限り人名の考証と比定を行い、異称・別称の類もすべて採録した。本索引により、本文に記載のある、知りたい人物を即座に検索可能になった。中世史を研究するすべての人に贈る待望の索引! (2010.12)

看聞御記

かんもんぎよき

全2冊・完結

続群書類従補遺2上下

B6判 揃1,386頁

[OD版] A5判 揃本体22,000円

[通常版] B6判 セット品切

(上) 628頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3215-7 本体10,000円(2013)

[通常版] 【品切】

(下) 758頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3216-4 本体12,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0113-X 本体5,000円(1930)



後崇光院貞成親王の応永23年(1416)から文安5年(1448)の日記。記主は崇光院の皇孫栄仁親王の第二子で、幼少の頃は今出川公直に養育された。後、元服と同時に伏見宮に戻り、応永24年兄治仁王の急死の後をうけ伏見宮家第三代の主となっている。又、同32年4月後小松上皇の猶子として親王宣下を受けたが、7月俄に出家し道欽と号した。正長元年称光天皇の崩御に当り、親王の第一子彦仁王が位につき後花園天皇となり、文安4年天皇の実父ということで太上天皇の尊号をうけている。かくして、本記は記主の日常生活についてはもちろん、後花園天皇践祚に関する朝廷の動き、足利義教の肃清政治の様子、嘉吉の乱等朝幕を中心とする政局の動きを記し、また世間の巷説、市井の出来事、種々の芸能に関する記事等も豊富で当代の政治・文化・庶民生活等に関する貴重な史料となっている。

【収録】(上) 1416 [応永23]~1431 [永享3]

(下) 1432 [永享4]~1448 [文安5]

高橋隆三校訂／書名索引：土井哲治編

実 隆 公 記

さねたかこうき

全20冊・完結

A5判 平均415頁、揃8,300頁
各巻本体9,000円
書名索引のみ本体12,000円
揃本体183,000円

ISBN4-7971-

- ①上-0431-7 (1931.8) / ①下-0432-5 (1931.8)
 ②上-0433-3 (1932.5) / ②下-0434-1 (1932.5)
 ③上-0435-X (1933.8) / ③下-0436-8 (1933.8)
 ④上-0437-6 (1935.12) / ④下-0438-4 (1935.12)
 ⑤上-0439-2 (1938.12) / ⑤下-0440-6 (1938.12)
 ⑥上-0441-4 (1961.6) / ⑥下-0442-2 (1962.12)
 ⑦-0443-0 (1957.3) / ⑧-0444-9 (1958.3)
 ⑨-0445-7 (1967.5) / ⑩-0446-5 (1959.3)
 ⑪-0447-3 (1959.3) / ⑫-0448-1 (1962.3)
 ⑬-0449-X (1963.3) / 書名索引-0730-8 (2000.6)

三条西実隆(1455-1537)の日記。文明から応仁の乱を経、天文の頃にいたるまで、戦国争乱のさなかにおける政治・社会の動静、公家文化とその地方浸透などに関する室町後期の根本史料。また本記を通して、実隆の深い教養が公卿・武家の社会に重んじられた事情が窺われる。さらに淀の魚市や関所の濫置、土一揆の蜂起等、社会経済史の記事も豊富に記載されている。

【収録】

- ①上 1474 [文明6]～1479 [文明11]
 ①下 1480 [文明12]～1487 [長享元]
 ②上 1487 [長享元]～1489 [延徳元]
 ②下 1490 [延徳2]～1494 [明応3]
 ③上 1495 [明応4]～1496 [明応5]
 ③下 1497 [明応6]～1501 [文亀元]
 ④上 1502 [文亀2]～1505 [永正2]
 ④下 1505 [永正2]～1507 [永正4]
 ⑤上 1508 [永正5]～1510 [永正7]
 ⑤下 1510 [永正7]～1522 [大永2]
 ⑥上 1523 [大永3]～1525 [大永5]
 ⑥下 1525 [大永5]～1526 [大永6]
 ⑦1527 [大永7]～1529 [享禄2]
 ⑧1529 [享禄2]～1533 [天文2]
 ⑨1534 [天文3]～1536 [天文5別記・補遺]
 ⑩1474 [文明6]～1489 [長享3紙背文書]
 ⑪1489 [延徳元]～1499 [明応8紙背文書]
 ⑫1501 [文亀元]～1506 [永正3紙背文書]
 ⑬1506 [永正3]～1522 [大永2紙背文書]
 書名索引

お湯殿の上の日記

おゆどのうえのにつき

全11冊・完結



続群書類従補遺3(一)～(十一)

平均468頁、揃5,148頁

[オンデマンド版] A5判 揃本体85,000円(2013)

ISBN978-4-8406-

- ①-3217-1 本体9,000円 / ②-3218-8 本体8,000円
 ③-3219-5 本体7,000円 / ④-3220-1 本体9,000円
 ⑤-3221-8 本体6,000円 / ⑥-3222-5 本体9,000円
 ⑦-3223-2 本体7,000円 / ⑧-3224-9 本体7,000円
 ⑨-3225-6 本体9,000円 / ⑩-3226-3 本体9,000円
 ⑪-3227-0 本体5,000円

[通常版] B6判 揃本体50,000円(1957-1966)

ISBN4-7971-

- ①-0114-8 本体5,000円 / ②-0115-6 本体5,000円
 ③-0116-4 本体4,000円 / ④-0117-2 本体5,000円
 ⑤-0118-0 本体4,000円 / ⑥-0119-9 本体5,000円
 ⑦-0120-2 本体4,000円 / ⑧-0121-0 本体4,000円
 ⑨-0122-9 本体5,000円 / ⑩-0123-7 本体5,000円
 ⑪-0124-5 本体4,000円

宮廷記録の一つで禁中御湯殿上の間で、天子近侍の女官が記した当番日記。後土御門天皇文明9年(1477)より霊元天皇貞享4年(1687)まで、主上の動静を主として、恒例・臨時の行事、任官・叙位・遊宴・御会・御料進献・將軍以下参内の様子を記し、時に女官の動静を記し、御湯の当番、移動・新任などをも記している。室町時代以後の史料として重要であることは言うまでもないが、皇室史の史料としては第一におかれるべきものとなっている。

【収録】①1477 [文明9]～1487 [長享元]

- ②1488 [長享2]～1496 [明応5]
 ③1497 [明応6]～1531 [享禄4]
 ④1532 [天文元]～1545 [天文14]
 ⑤1546 [天文15]～1557 [弘治3]
 ⑥1558 [永禄元]～1569 [永禄12]
 ⑦1570 [元亀元]～1582 [天正10]
 ⑧1583 [天正11]～1595 [文禄4]
 ⑨1598 [慶長3]～1644 [寛永21]
 ⑩1675 [延宝3]～1687 [貞享4]
 ⑪1500 [明応9]～1625 [寛永2]

辻善之助校訂

鹿 苑 日 録

ろくおんにちろく

全7冊・完結

A5判 平均411頁、揃2,876頁

各巻本体10,000円

【在庫僅少】

ISBN4-7971-

- ①-0503-8 (1934.6) / ②-0504-6 (1934.10) 【品切】
 ③-0505-4 (1935.5) / ④-0506-2 (1935.10)
 ⑤-0507-0 (1936.8) / ⑥-0508-9 (1937.6)
 ⑦-0509-7 7索引 総索引 (1962.5)



本書は、相国寺鹿苑院歴代の僧録の日記約70余冊を大略年代順に編次したものである。長享元年(1487)から慶安4年(1651)に至る165年に及ぶ日記に文書案・漢詩集などを含む。年代的には『蔭涼軒日録』を継承するものである。鹿苑院院主は、僧録司の職に補せられる慣例であったから、室町時代の禅苑に関する好資料であるにとどまらず、將軍の動静、幕府の内事を漏らすものが少なくない。当時の政治・文芸の好史料。詳細索引付。

高橋隆三・齋木一馬・小坂浅吉校訂

言 継 卿 記

ときつぐきょうき

全6冊・完結

A5判 平均486頁、揃2,916頁 各巻本体13,000円

- ①ISBN978-4-8406-3053-5 440頁 (1966.5) 【OD版】
 ②ISBN978-4-8406-3054-2 496頁 (1972.1) 【OD版】
 ③ISBN978-4-8406-3055-9 780頁 (1998.1) 【OD版】
 ④ISBN978-4-8406-3056-6 554頁 (1998.12) 【OD版】
 ⑤ISBN978-4-8406-3057-3 318頁 (1965.9) 【OD版】
 ⑥ISBN978-4-8406-3058-0 328頁 (1967.11) 【OD版】



権大納言山科言継(1507-1579)の日記。大永7年(1527)、言継20歳の時から、薨去の直前、70歳の天正4年(1576)12月まで、前後50年にわたる。戦国時代を中心とする時期の日記として、本記ほどまとまったものは他にない。山科家が内蔵寮を管していたところから、皇室の経済に関することはとくに詳しく、また、文学・芸能・医学などの記事や武将との交渉の記事等、当時の世相を知る重要資料。紙背文書は『史料纂集』古文書編に収録(本図書目録32頁参照)。

甲田利雄著

校本江談抄とその研究

こうほんごうだんしょうとそのけんきゅう 全3冊・完結

A5判 平均529頁、揃1,586頁

揃本体39,000円

各巻本体13,000円

- (上) ISBN4-7971-0621-2 (1987.3)
 (中) ISBN4-7971-0622-0 (1989.3)
 (下) ISBN4-7971-0623-9 (1988.2)



大江匡房(1041-1111)は、後三条・白河・堀河・鳥羽の四朝に仕えた平安末期の碩儒である。『江談抄』は、匡房の談話を藤原実兼が筆記したもので、故事や世間の事をしるしたもので後世の説話文学に多大な影響を与えた。本書は、上巻(類従本表題一覧・水言抄目録・本文並びに考説巻1~4)・中巻(本文並びに考説巻5~6・補遺・索引)・下巻(論述編・水言抄の江談本文の写し・前田本江談抄の写し・江談抄所載人名略伝)の3冊を刊行する。本書は、『江談抄』の成立・内容・本文・諸本について諸先学の研究成果をふまえ、改めて諸問題を提起し、その解明の端緒とならんとするものである。

瀬野精一郎・村井章介編

松浦党関係史料集

まつうらとうかんけいしりょうしゅう 全6冊・既刊①-⑤

A5判 平均317頁、揃1,584頁

①③各巻本体9,000円 ②【品切】

④本体15,000円 ⑤本体18,000円

- ①ISBN4-7971-0632-8 288頁 (1996.8)
 ②ISBN4-7971-0633-6 294頁【品切】(1998.9)
 ③ISBN4-7971-0634-4 296頁 (2004.3)
 ④ISBN978-4-8406-2034-5 326頁 (2009.4)
 ⑤ISBN978-4-8406-2243-1 380頁 (2020.4)



肥前国松浦地方に土着繁栄した武士集団、松浦党に関する残存史料を集大成し、平安から南北朝動乱の終結に至るまでの約400年間の松浦党の変遷を知り得る約700点の関係史料を収録し、編年順に編纂刊行する。第4以降は、海外史料も所収し、松浦党研究の一層の発展を期待するものである。

村田正志編

和訳花園天皇宸記

わやくはなぞのてんのうしんき

全3冊・完結

A5判 平均333頁、揃1,000頁

揃本体25,000円

①本体7,000円 ②③各巻本体9,000円

- ①ISBN4-7971-1551-3 (1998.10)
 ②ISBN4-7971-1552-1 (2003.1)
 ③ISBN4-7971-1553-X (2003.3)



史料纂集『花園天皇宸記』を底本としてこれを通読理解するために全文を訓読する。本書は、南北朝時代研究の大家村田正志氏の編により、難解であった『花園天皇宸記』の宮廷儀式等の故実訓みにルビを付し、的確に訓読する。史料纂集本と同じ構成とし、難読であった本書を身近に理解する絶好の手引書。

石清水八幡宮社務所編

石清水八幡宮史

いわしみずはちまんぐうし

全8冊+別巻・完結

菊判 平均786頁、揃7,072頁

【セット品切】

①②⑤⑦⑧各巻本体15,000円/③④⑥各巻本体18,000円

ISBN4-7971-

- ①-0661-1 (1932.8) / ②-0662-X (1933.8)
 ③-0663-8 (1934.4) / ④-0664-6 (1934.11)
 ⑤-0665-4 (1935.7) / ⑥-0666-2 (1936.11)
 ⑦-0667-0 (1936.5) / ⑧-0668-9 (1937.12)
 別巻-0669 (1939.8) 【品切】



昭和14年に28年を要して出版完了した石清水八幡宮史を再刊。別巻に石清水社の略史・編年史・祠官系図を収め、第1~8輯には、本宮に関係ある重要史料を、鎮座編以下崇敬編にいたる11項目に分類し、編年集成したものである。本宮に伝存する文書を根幹にして、公家・武家他の関係史料を収録。

- ①鎮座・祭神・神体・璽宮璽剣・社殿・寺塔編 / ②祭祀編上 / ③祭祀編下 / ④怪異・祠官編 / ⑤社領編上 / ⑥社領編下 / ⑦崇敬編上 / ⑧崇敬編下 / 別巻 石清水八幡宮略史・編年史・祠官系図

石清水八幡宮社務所編

石清水八幡宮史料叢書

いわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全5冊・完結

A5判①ISBN4-7971-0671-9

本体15,000円【在庫僅少】／②-⑤【品切】



石清水八幡宮に伝存する古文書・古記録を内容により分類、収録した叢書。内容は本社の男山を中心とするあらゆる古跡・事物・行事について、その由来変遷を詳述したものである。本書全5冊は昭和35年に15年をかけて出版完了したもので、重要必見の史料でありながら、かつて市販されたことはない。(1960.8)

村田正志・石川晶康・田中君於編

続石清水八幡宮史料叢書

ぞくいわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全4冊・既刊①-③

A5判 平均313頁、揃938頁

既刊3冊本体24,000円

各巻本体8,000円【残部僅少】



本書は・天下第二の宗廟・とされる石清水八幡宮に伝存されている、平安～江戸末期に及ぶ、質量共に神社界では最高にして最大級の古文書・古記録群の目録である。第1・2巻には田中家文書目録を、第3巻には菊大路家文書目録を収録し、併せて重要・貴重文書の写真を掲載し、研究者の便宜を計るものである。

①田中家文書目録1 ISBN4-7971-1005-8 (1985.12)

②田中家文書目録2 ISBN4-7971-1006-6 (1996.10)

③菊大路家文書目録 ISBN4-7971-1007-4 (1988.6)

詫間直樹編

新皇居行幸年表

しんこうきぎょうこうねんぴょう

ISBN978-4-8406-2258-5

A5判 624頁 本体11,000円



天皇の皇居・行幸一覧の決定版、25年ぶりの増補改訂！神武天皇から幕末の孝明天皇まで、歴代天皇の居所、移徙・行幸先を編年で提示。『皇居行幸年表』（続群書類従完成会、1997年）所収部分（桓武～後醍醐天皇）は新出史料情報を追加するなど増補改訂。天皇の移動を通史的に把握できる必携の座右の書。(2022.4)

槇道雄著

上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—

じょうこうとほうおうのれきし せんとうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いつきながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

永井 晋編

鎌倉僧歴事典

かまくらそうれきじてん

ISBN978-4-8406-2038-3

A5判 344頁 本体12,000円



【好評につき重版】武家の都・鎌倉で活動した鎌倉時代の僧侶949名の経歴を知る人名事典。中世鎌倉を知るための必備の書。僧侶それぞれについて生没年、家族、法流、本文、寺院、通称の順に記載。再検証ができるように、引用史料の出典を掲げた。解説・索引を完備、鎌倉顕密僧を知る入門ガイドも掲載。(2020.5)

久水俊和著

中世天皇家の作法と律令制の残像

ちゅうせいてんのうせいのさほうとりつりょうせいのざんざう

ISBN978-4-8406-2239-4

A5判 400頁 本体7,000円



中世に残された古代律令制の実像とは？ 朝廷と室町幕府のあらたな関係を提示。天皇家の公事作法や神事・学芸に注目し、皇統確立の過程を明らかに。律令国家以来の太政官制が中世に機能していたことを論証。平安京大内裏跡の具体的な復原も試みる。皇統はどのように確立したのかについても論究。(2020.6)

高橋忠彦・高橋久子・古辞書研究会編

尊経閣文庫本桂川地蔵記 影印・訳注・索引

そんけいかくぶんこぼん かつらがわじぞうき

ISBN978-4-8406-2086-4

B5判 352頁 本体20,000円



語彙を豊富に含んだ室町時代の武家の教科書として広く読まれた本書をカラーで新撮影し全文を影印。さらに索引（漢字・自立語）・訓み下し・現代語訳・注・解説を付す。飲食物・茶道具など、日常使われる語彙を列挙、日本語・芸能・風俗・宗教など広く中世社会を知るための必備史料。(2012.5)

北条氏研究会編

北条時宗の時代

ほうじょうときむねのじだい

ISBN978-4-8406-2030-7

A5 864頁 本体18,000円



北条時頼・時宗父子の時代は、政治や文化の面で鎌倉時代の画期となるべき時代である。北条時宗とその時代について、現在までの研究史と問題の所在を明示し、その発給文書・一族・御家人・得宗被官等から当時の状況を明らかにする。北条氏研究会の気鋭の研究者13名による21論文を収録。(2008.5)

永井晋著

金沢北条氏の研究

かねさわほうじょうしのけんきゅう

ISBN4-8406-2025-3

A5 546頁 本体12,000円【美品なし】



精緻な史料研究、古文書の科学的分析等から鎌倉時代の政治史を大胆に再構築。初代実泰に始まり、金沢文庫の創始者実時から北条高時とともに幕府崩壊まで鎌倉幕府を支えた貞顕まで、鎌倉時代の政治・文化等を語る上での重要人物の金沢北条氏を総合的に検討した大著。日本中世史研究者必携の基礎文献。(2006.12)

森幸夫著

六波羅探題の研究

ろくはらたんだいのけんきゅう

ISBN4-7971-0742-1

A5判 340頁 本体6,000円



鎌倉幕府の六波羅探題について、南北両探題・評定衆・奉行人等に焦点をあて、職員構成と発展過程、関東・鎮西探題と異なる独自の政治権力組織の在り方等について実証的に明らかにする。六波羅探題の展開過程や特色等を明確にし、関東における得宗政治体制を視野に入れ、その滅亡と歴史的な位置を考察する。(2005.4)

岡田清一著

鎌倉幕府と東国

かまくらばくふととうごく

ISBN4-7971-0745-6

A5判 448頁 本体11,000円



鎌倉幕府政治の変転を考えるとともに、幕政の変転が地域社会に如何なる影響を与えたか、あるいは地域(の在地)領主層がどのような対応を示したか、そして、地域社会の動向が幕府政治にどのようなかたちで表出したかを考察し、幕府政治の変質する過程を地域社会との関連のなかで具体的に追求する。(2006.1)

小野澤眞著

中世時衆史の研究

ちゅうせいじしゅうしのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2090-1

A5判 860頁 本体17,000円



時衆について、その成立から衰退にいたる過程を概観したはじめての論集。時衆の成立と中世社会における機能と浸透過程・形態、教勢の消長と背景を日本全国を廻って検証し、日本仏教の庶民信仰化と地方展開の中の時衆を意義づける。気鋭の著者が、時衆史の研究の新たな地平を拓く。(2012.5)

永井晋・角田朋彦・野村朋弘編

金沢北条氏編年資料集

かねさわほうじょうしかんけいしりょうしゅう

ISBN978-4-8406-2070-3

A5判 696頁+モノクロ口絵8頁 本体20,000円



金沢北条氏にまつわる関連史料1050点を編年で配列し翻刻。各資料には解説をつけ、さらに索引を付す。主要史料となる金沢文庫古文書は、年代比定や接続関係など最新の成果を反映。金沢北条氏のみならず、鎌倉時代を知るための必携資料集。(2013.4)

萩原大輔著

異聞 本能寺の変『乙夜之書物』が

いぶん ほんのうじのへん いつやのかきものがしるすみつひでのらん

ISBN978-4-8406-2246-2

A5判 290頁 本体2,800円



【史料で読む戦国史4】信長が殺されたそのとき、光秀は本能寺にいなかった！ 朝日新聞ほか、メディアで大きく取り上げられた新発見の史料『乙夜之書物』を①写真・翻刻、②大意、③解説で徹底解説し、戦国史最大の謎に迫る。『乙夜之書物』の記述内容を一覧化した表を載せるガイドも付録。(2022.3)

藤田達生・福島克彦編

明智光秀

あけちみつひで

ISBN978-4-8406-2210-3

A5判 392頁 本体4,800円



【史料で読む戦国史3】明智光秀の発給した全文書を翻刻・集成。史料本文に傍注・解説を付した充実の史料編。さらに編者他立花京子・小久保嘉紀・福島克彦・山田康弘ら4名の論文・コラムを収録。明智光秀の略年譜、基本参考書一覧など付録も充実。謎多き光秀を知る基本文献。(2015.10)

鳥津亮二著

小西行長「抹殺」されたキリシタン大名の実像

こにしゆきなが

ISBN978-4-8406-2049-9

A5判 368頁 本体4,800円



【史料で読む戦国史2】関ヶ原の敗軍の将として「抹殺」されたはずの史料を原本にあたり徹底調査、「つくられた行長」の虚像を覆す。図版を100点以上収録し、わかりやすく叙述。付録に、行長が発給した文書101通(全90頁)の翻刻を掲載。54点は原文書の写真も併載。(2010.7)

西島太郎著

〔OD版〕戦国期室町幕府と在地領主

せんごくきむろまちはくふとざいちりょうしゅう

ISBN978-4-8406-3471-7

A5判 並製 488頁 本体15,000円



近江を中心に東方勢力から見た室町幕府論！ 細川・三好ら西方勢力との関係からのみ論じられた戦国期室町幕府について、近江、東海地域など東方勢力から論じるという新視点を提示、畿内・近国の在地領主層で残存する唯一のまとまった史料「朽木文書」を詳細に分析。混迷する戦国期の室町幕府を解明。(2006.12)

奥野高廣著

戦国時代の宮廷生活

せんごくじだいのきゅうていせいいかつ

ISBN4-7971-0741-3

A5判 396頁 本体6,000円



後土御門・後柏原・後奈良・正親町の四天皇の時代の宮廷生活を、公・私と宗教・学芸生活について解説を加える。史料を引用しながら、皇室・皇居・装束・年中行事・帝王学・経済・宮女・日常生活・飲食物・教養と娯楽、宗教や学問等について概説した戦国期の宮廷に関する好著である。(2004.1)

湯川敏治著

戦国期公家社会と荘園経済

せんごくきくげしゃかいとしょうえんけいざい

ISBN4-7971-0744-8

A5判 488頁 本体13,000円



著者が1981年以来発表してきた研究の集大成である。従来研究の少なかった戦国期の公家について、近衛家を例にとり、何を考え、どのような生活を営んでいたのか、歴代の行動とその家族・家産経済・家政機構などの面から、当時の記録をもとに実証的に明らかにする。(2005.8)

文化史

高田宗平編

日本漢籍受容史—日本文化の基層—

にほんかんせきじゅうようし にほんぶんかのきそう

ISBN978-4-8406-2260-8

A5判 698頁 本体9,000円



前近代の日本を理解するために、漢籍を知る！ 清朝以前に中国人が漢文（漢語）で撰した書物＝漢籍。あらゆる知識・情報の根源となった漢籍は、どのように受容され、日本文化に根付いたのか。漢籍に関わる様々な分野の研究者が最新論考を寄稿し、前近代の漢籍受容の歴史を学際的・通時代的に解明した、初の学術書。 (2022.11)

水上雅晴編／編集協力 高田宗平

年号と東アジア—改元の思想と文化—

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそうとぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。 (2019.4)

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編

日本書紀の誕生—編纂と受容の歴史—

にほんしょぎのたんじょう へんざんとじゅうようのれきし

ISBN978-4-8406-2225-7

A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした、待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載。 (2018.4)

中根勝著

〔OD版〕日本印刷技術史

にほんいんさつぎじゅつし

ISBN978-4-8406-3604-9

B5判 280頁 本体12,000円



中国・韓国の印刷起源から筆を起こし、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。 (2015.11)

穴倉佐敏編著

必携 古典籍古文書料紙事典

ひっけい こてんせきこもんじょりょうしじてん

ISBN978-4-8406-2072-7

A5判 472頁 本体10,000円



製法から調査法まで料紙調査のプロの技を伝授！ 古代から近世まで、古典籍・古文書・経典・紙幣等、あらゆる料紙について具体的な調査方法と成果を紹介。簞目測定帳、繊維判定用和紙見本帳など別冊で付録。歴史学・国文学・書誌学・保存科学・書道史・仏教史等の専門家19名がコラムを寄稿。図版多数。 (2011.7)

山本信吉著

古典籍が語る 書物の文化史

こてんせきががたる しょもつのぶんかし

ISBN4-8406-0044-9

A5判 304頁 本体3,600円



国宝・重要文化財などの文化財指定に長年従事した古典籍調査の達人が本の見方を伝える。「なぜ古典籍は今日まで残ったのか？」「本の姿—装幀の違いにはどのような意味がこめられているか？」等々、古典籍に関わる諸事項を独自の切り口で語り尽くす。「奥書」について40頁にわたり詳述。 (2004.11)

最新刊！第8回配本 ⑧4



尊経閣 古文書纂 編年雑纂文書 一 五
(そんけいかくこもんじょさん へんねんざつさんもんじょ)

高精細カラー版

尊経閣善本影印集成

第十輯

古文書

全12冊

前田育徳会尊経閣文庫編 編集委員 藤井讓治・尾上陽介

編年文書・朝鮮文書・外国文書・俳人等文書・未定文書
宗教関係文書からなる多種多様な古文書群をオールカラーで収録！

★B5判上製・貼函入・平均約二〇〇頁
★セット予価三七九、五〇〇円
(本体三四五、〇〇〇円＋税10%)



【各冊分売可】 既刊⑧4

- 第8回配本 (2023年9月) 最新刊！
尊経閣古文書纂 編年雑纂文書一
第9回配本 (2023年12月)
尊経閣古文書纂 編年雑纂文書二
第10回配本 (2024年3月)
尊経閣古文書纂 編年雑纂文書三
第11回配本 (2024年6月)
尊経閣古文書纂 編年雑纂文書四
第12回配本 (2024年9月)
尊経閣古文書纂 編年雑纂文書五

八木書店 YAGI BOOK STORE LTD.

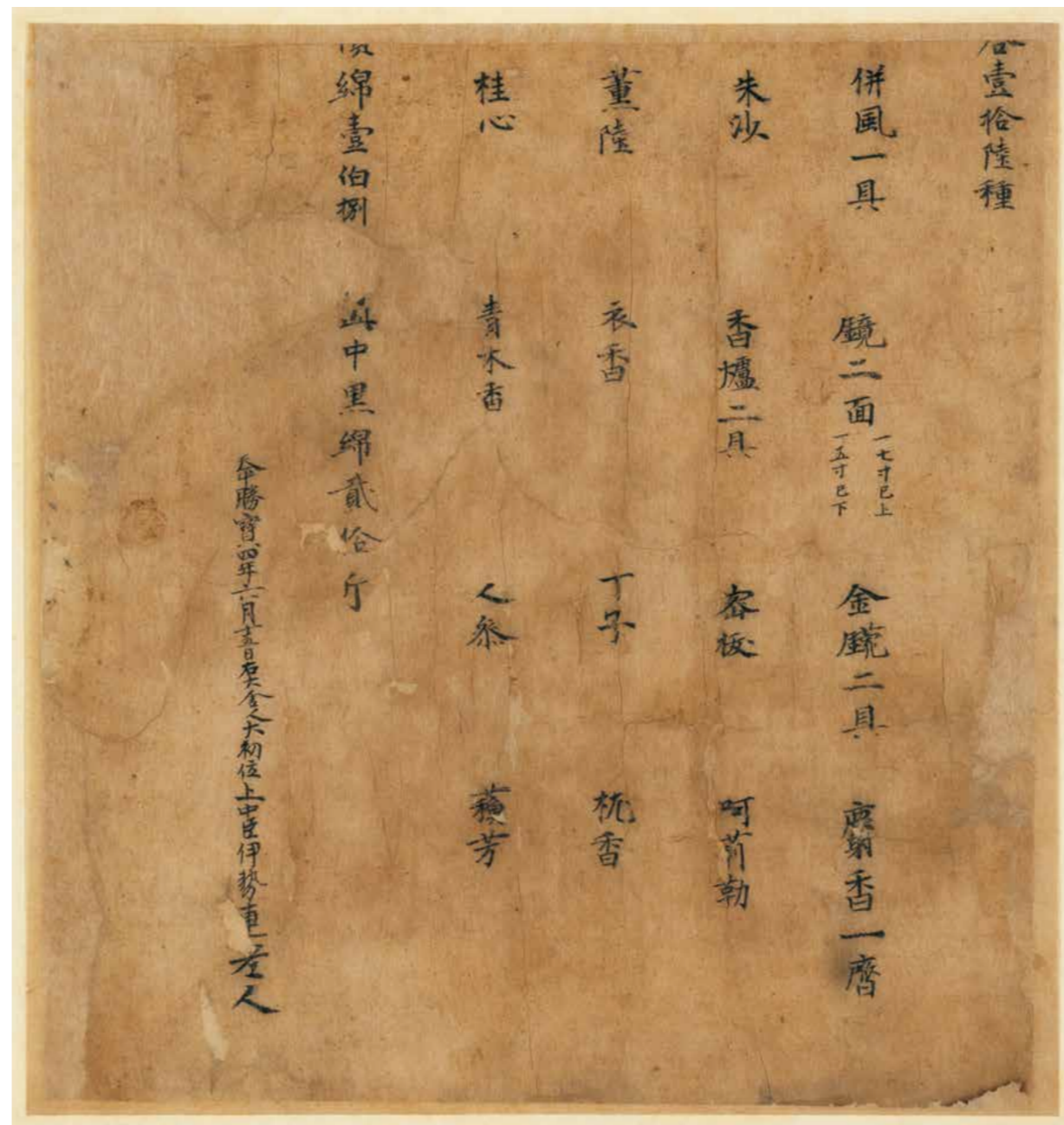
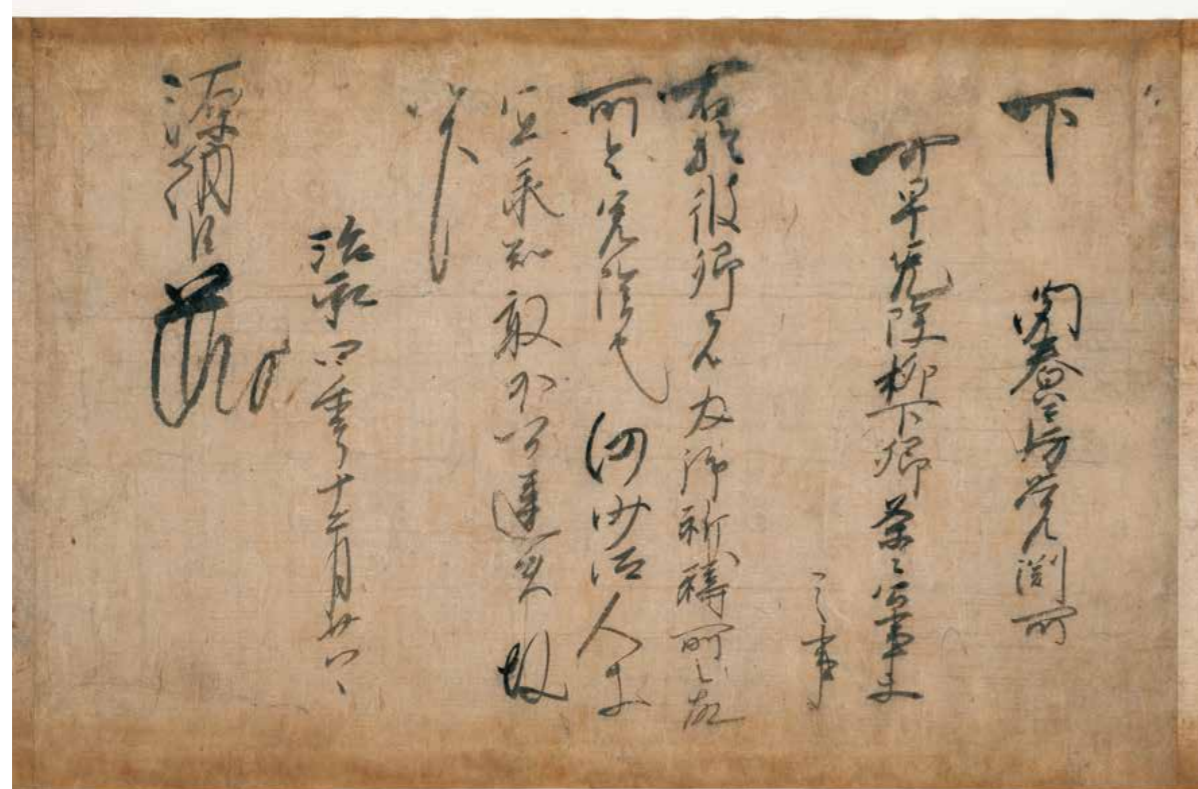
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
TEL 03-3291-2961 FAX 03-3291-6300
E-mail pub@books-yagi.co.jp Web https://catalogue.books-yagi.co.jp/

尊経閣善本影印集成 既刊・続刊一覧 (分売可) 2023年9月現在

Table with columns: 各冊内容, 通し巻数, タイトル, ISBN, 定価, 各冊内容, 通し巻数, タイトル, ISBN, 定価. Lists books from 第1輯 to 第10輯.

Order form with fields: お名前 (ふりがな), TEL, FAX, E-MAIL, 取扱店 (番線印), ご住所 〒.

【お申込み・お問い合わせ先】 八木書店総合営業部 TEL03-3291-2961/FAX03-3291-6300/E-mail pub@books-yagi.co.jp



編年雑纂文書の概要

「尊経閣古文書纂」のうち、諸家・社寺両文書に分類されない古文書を収めたもので、総数は約九二〇点である。内訳は、**編年文書** 〓約六九一点、**朝鮮文書** 〓二二点、**外国文書** 〓一三点、**俳人等文書** 〓七点、**未定文書** 〓約一五五点、**宗教関係文書** 〓三二点、**編年文書** は三分冊、それ以外の古文書は二分冊として集成する。

編年文書は、年次順に五七七の番号(枝番あり)を付けて配列したもので、一番は、天平勝宝四(七五二)年六月十五日の解(重要文化財「買新羅物解」七通のうち)、最後の五七七番は、江戸時代中期、延享期(二七四五年頃)と推定される年未詳五月二十三日の日野資枝書状である。源頼朝や足利尊氏などの成巻史料や莊園・村落関係史料など多種多様な古文書が収載されている。

朝鮮文書は、豊臣秀吉による二度の朝鮮出兵に関する古文書をまとめたもので、陣法度や軍勢人数次第といった豊臣秀吉・秀次の朱印状が多く、秀吉による中国・朝鮮征服計画を記したことで著名な「豊太閤三国処置太早計」(二巻)も含まれている。

外国文書には、高山国(現在の台湾)宛の豊臣秀吉朱印状(一巻)や、徳川家康時代の安南・占城(ともに現在のベトナム)等宛の渡海朱印状(五通)などを収録する。

なお最終冊には、文庫が所蔵する「三朝宸翰」(二巻、国宝)、「後醍醐天皇宸翰御感状」(二幅、重要文化財)といった卷子や掛幅に装幀された宸翰などの**宸翰文書類**約四〇点も収録する。「三朝宸翰」は、伏見・花園・後醍醐三天皇が青蓮院門跡に宛てた宸翰消息を貼り継いだもの。第一巻が花園天皇の消息二点、第二巻が後醍醐天皇の消息一〇点と伏見天皇の消息二点で、紙背に法華経を摺写した痕跡があり、供養経として伝来したとされる。「後醍醐天皇宸翰御感状」は、年月日欠ながら、後醍醐天皇が元弘の変以来の足助重治の軍功を賞し、さらなる忠節を期待した感状である。



本冊には、天平勝宝4年(752)から貞治5年(1366)までの古文書267点を収録。
← QRコードから【目次】を参照いただけます。

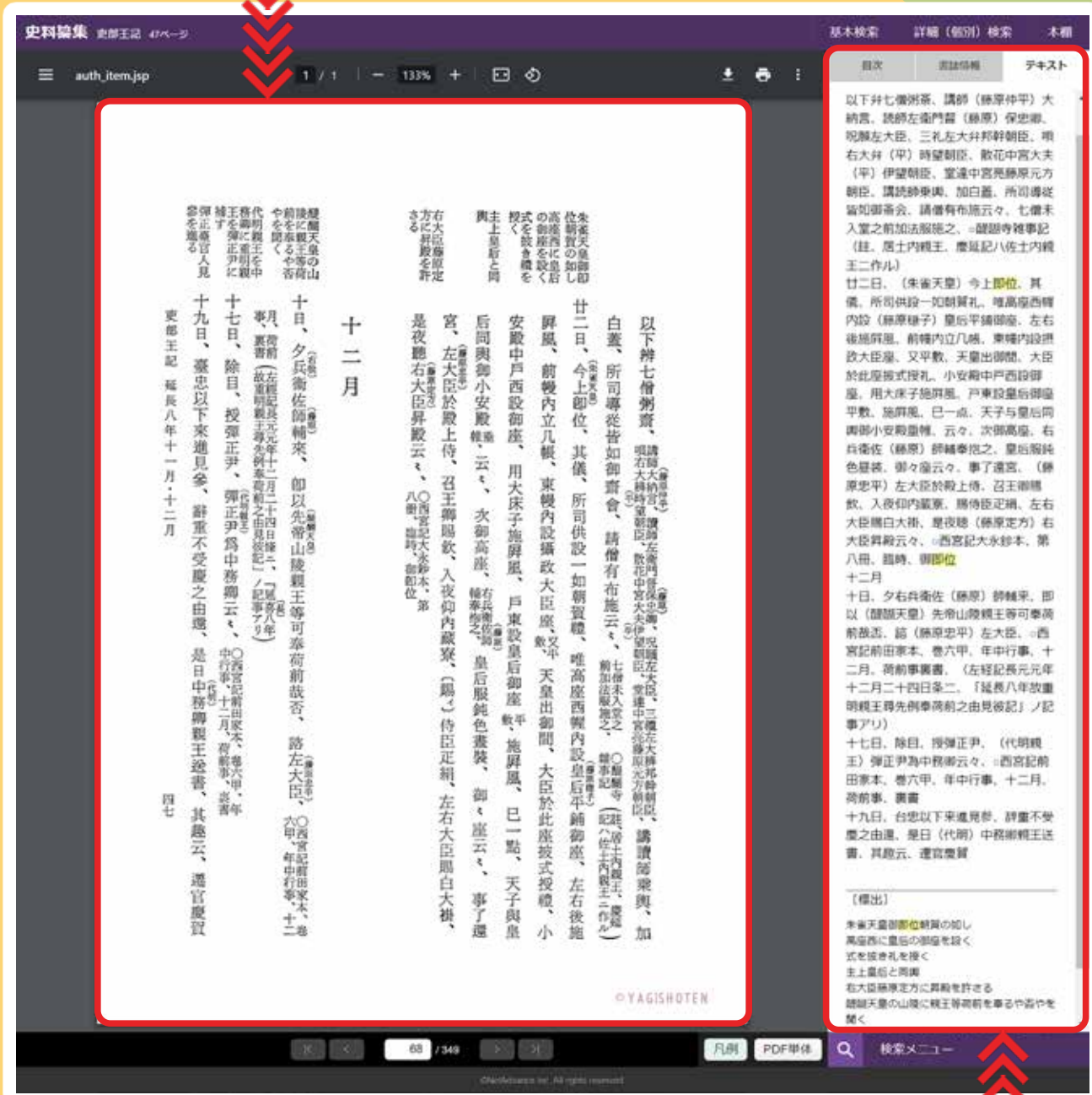


Web版史料纂集 個別表示画面

POINT.1 紙面画像

『史料纂集』の紙面がPDF画像で表示されます。画面の拡大・縮小や、ページ単位での印刷も可能。

傍注もほぼ全てテキストデータ化。紙面画像と見比べながら簡単にテキストの引用ができます！



POINT.2 テキストデータ

本文に加え、人名注・校訂注や標出を含む紙面の情報をほぼそのままフルテキストデータ化。テキストデータは新字で統一（旧字検索も可能）され、簡単にコピー・引用が可能。検索語句はわかりやすくハイライト表示。

タブを切り替えると目次や書誌情報が表示されます！

Web版 史料纂集 第2期 購入のご案内

特別価格販売期間 2024年1月～2026年3月31日

コンテンツ料金 (初回契約時のみ)

〔フルセット〕

第2期 古記録編 室町・戦国①～③

特別価格：1,485,000円 (本体1,350,000円+税)

通常価格：1,650,000円 (本体1,500,000円+税)

〔分売〕

分売③：第2期 古記録編 室町・戦国①

収録：教言脚記/教興脚記/経覚私要鈔/山科家礼記

分売④：第2期 古記録編 室町・戦国②

収録：実隆公記

分売⑤：第2期 古記録編 室町・戦国③

収録：師郷記/氏経卿神事記/元長脚記/十輪院内府記/松陰私語/言国脚記

特別価格：各495,000円 (本体450,000円+税)

通常価格：各550,000円 (各本体500,000円+税)

Web版 史料纂集 第1期 好評配信中！

特別価格販売期間 2025年3月31日まで

〔フルセット〕

第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝

特別価格：990,000円 (本体900,000円+税)

通常価格：1,100,000円 (本体1,000,000円+税)

〔分売〕

分売①：第1期 古記録編 平安・鎌倉

特別価格：各495,000円 (本体450,000円+税)

通常価格：各550,000円 (本体500,000円+税)

分売②：第1期 古記録編 南北朝

※本サービスは、JKBooksとしてお申し込みが必要となります(ジャパンナレッジ Libには含まれておりません)。※ご購入時に、プラットフォームを①「Web版 史料纂集」の単独利用か、②ジャパンナレッジ Lib との統合、のいずれかをご選択ください。

①「Web版 史料纂集」単独利用の場合

年間システム利用料として、下記の金額を頂戴いたします。同時アクセス数は4です。

フルセット 第1期：21,780円〔月額1,815円〕(税込)

第2期：32,670円〔月額2,723円〕(税込)

分売 各10,890円〔月額908円〕(税込)

②ジャパンナレッジ Lib との統合の場合

年間システム利用料はかかりません。同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib に準じます。

※ジャパンナレッジ Lib の会員でないお客様は、登録および初期設定費用として入会費 16,500円 (本体15,000円+税、初回契約時のみ) と、年間システム利用料を頂戴いたします。詳細はお問い合わせください。

無料トライアルのご案内

法人・機関のご担当者様は、下記のサイトから申込書をダウンロードいただき、お申し込みください。

<https://catalogue.books-yagi.co.jp/books/view/2242>

※ Web 版史料纂集は八木書店古書店店舗でも実際にご試用いただけます。

編集・刊行	八木書店	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961/Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/
配信・運営	NetAdvance 小学館グループ 株式会社ネットアドバンス	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-30 昭とビル3F Tel:03-5213-0872/Fax:03-5213-0876 b2b@japanknowledge.com
販売総代理店	紀伊國屋書店 株式会社紀伊國屋書店 デジタル情報営業部	〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10 Tel:03-6910-0518/Fax:03-6420-1359 online@kinokuniya.co.jp



第2期 古記録編 室町・戦国 ①～③ (全60冊)

古記録・古文書などの重要史料を使いやすく文字起こし(翻刻)し、学界最高水準のテキストを提供する一大史料集成『史料纂集』。日本の歴史・文化研究に必須のシリーズが待望のデータベース化！

- 書籍の紙面画像とフルテキストデータを表示
最新版を底本とし、紙面画像と本文のフルテキストデータを並べて表示。テキストは検索・コピーが可能。検索語はハイライトで表示。
- 新字による横断検索、他コンテンツとの横断検索が可能
テキストは新字に統一しコピー・引用時の便宜を図った。「群書類従」「国史大系」「鎌倉遺文」など JKBooks * の他の書目との連携が可能。
*別途契約(ご購入)が必要。
- 全文検索、書名検索、年月日の絞込み検索を実現
語句の全文検索、書名検索が可能。日記に年月日のデータを付しており、年月日での絞込み検索も実現。

ジャパンナレッジで2024年1月配信開始

編集・刊行 八木書店 配信・運営 NetAdvance 販売総代理店 紀伊國屋書店 ※ Web 版史料纂集は図書館・法人向けのサービスです。

Web版史料募集 検索画面

STEP.1 検索語句の入力

まずは「**詳細（個別）検索**」で「**史料募集**」を選択。
本文のほか、**標出・解説**の検索も可能。
ジャパンレッジ Lib と統合利用の場合は「**基本検索**」で
Web版史料募集を含む全コンテンツを一括検索できます。

標出・解説も検索できるので、たとえば「**応仁の乱**」といった現代の用語もヒットします！



書名・時代区分ごとの
ヒット件数も一目瞭
然です！

STEP.2 絞り込み
項目種別（本文／標出／解説）・年月日（西暦／和暦）・時代区分・書名での絞り込み検索が可能。

STEP.3 検索結果
検索語句を含む書名・ページ数・年月日を一覧表示。
検索語句はハイライト表示され、前後のテキストを含むスニペットが表示される。書名を選択すると紙面・テキストデータの個別表示画面へ移動します。

『史料募集』の特長

1 多分野、多時代にわたる重要史料の一大集成

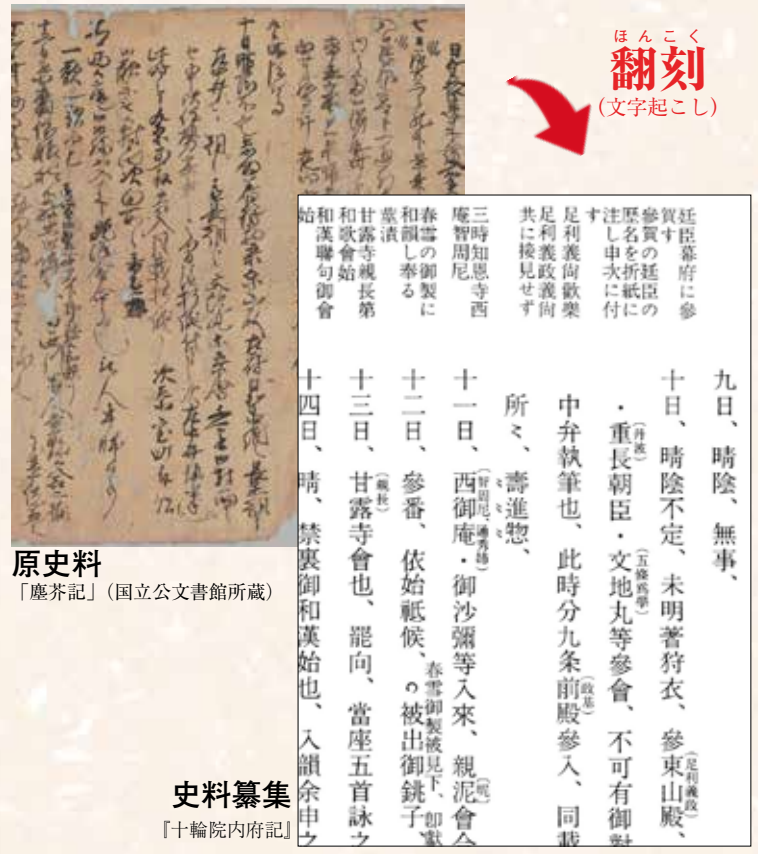
古代から近世にわたり、公家の日記から武士の書状、寺社の証文まで、さまざまな時代・ジャンルの古記録・古文書を翻刻。

2 学界最高水準かつ最良のテキストを提供

高度な精読による翻刻=文字起こしは、「大日本古記録」「大日本古文書」とともに学界で最も信頼のおけるテキストとして評価される。

3 詳細な人名注・校訂注、標出による読解補助

詳細な人名注・校訂注、内容を簡便に把握できる標出（頭注）により、誰でも本文理解を深めることができる。



『史料募集』は現在までに **270 冊** (古記録編 217 冊、古文書編 53 冊) を刊行しています。
(2023 年 10 月現在)



第2期 室町・戦国①～③ 収録書目

〔室町・戦国① 収録書目〕

のりとききょうき 教言卿記 [4冊] 山科教言 (1328-1411) の日記。足利義満の行動や内蔵寮領支配を知る好個の史料。禅僧の往来や、音楽・医業関係の記事も豊富。〔収録〕応永12年(1405)～応永17年(1410)。

のりおききょうき 教興卿記 [1冊] 山科教興 (1369-1418) の日記。本記は朝廷儀式・服飾・音楽関係の記事や將軍足利義持の動向などの記事に富む。〔収録〕応永17年(1410)～応永24年(1417)。※紙書籍では『教言卿記3』と合冊。

きょうがくしやうしやう 経覚私要鈔 [11冊] 奈良興福寺大乗院第18世門主経覚 (1395-1473) の日記。嘉吉の乱から応仁・文明の乱勃発の時期までの政治・社会・経済史研究の一級史料。〔収録〕応永22年(1415)～文明4年(1472)。

やましなけらいき 山科家礼記 [6冊] 山科家雅兼大沢久守 (1430-1498)・重胤 (1447-1472) 等の日記。室町時代の内蔵寮・山科家領の実態を記した社会経済史の好史料。〔収録〕応永19年(1412)～明応元年(1492)。

〔室町・戦国② 収録書目〕 『史料募集』以外の貴重書目も収録！

さねたかこうき 実隆公記 [20冊] 三条西実隆 (1455-1537) の日記。室町時代後期の政治・社会の動静、公家文化とその地方浸透などに関する根本史料。〔収録〕文明6年(1474)～天文5年(1536)。

〔室町・戦国③ 収録書目〕

もろさとき 師郷記 [6冊] 中原師郷 (1387-1460) の日記。大外記の立場からの政務・朝廷儀式に関する記録を主とし、世上の事件についての師郷の見聞も並記されている。〔収録〕応永27年(1420)～長祿2年(1458)。

うじつねきょうしんじき 氏経卿神事記 [2冊] 伊勢神宮の内宮(皇太神宮)の正員禰宜である荒木田氏経 (1402-1487) の日記。室町時代の伊勢神宮や伊勢国内の動静を詳細に記した史料。〔収録〕永享4年(1432)～文明18年(1486)。

もとながきょうき 元長卿記 [1冊] 甘露寺元長 (1457-1527) の日記。朝廷儀式や歌会、京都の動静や世相のほか、経済的にも零落した当時の公家社会の生活の実態を知る好史料。〔収録〕延徳2年(1490)～大永5年(1525)。

じゅうりんいんないふき 十輪院内府記 [1冊] 中院通秀 (1428-1493) の日記。幕府および世情の動向や学芸に関する記述も多く、『実隆公記』等とともにこの時代の主要な史料。〔収録〕文明9年(1477)～長享2年(1488)。

しょういんしご 松陰私語 [1冊] 新田岩松家純の陣僧松陰の回想録。応仁・文明の乱に先行する15世紀後半の東国における戦国時代の幕開けを記した貴重史料。〔収録〕応永年間(1394-1412)～文明年間(1469-1487)。

ときくにきょうき 言国卿記 [8冊] 山科言国 (1452-1503) の日記。山科家は代々内蔵頭を兼ね、音楽の家としても知られる。本記は禁裏供御や音楽の記事に詳しく所領関係の記事も多い。〔収録〕文明6年(1474)～文亀2年(1502)。

第1期 平安・鎌倉・南北朝 収録書目

- 〔平安・鎌倉 収録書目〕 ※〔 〕内は収録内容
- 吏部王記 [延喜20年(921)～天曆7年(953)]
 - 権記 [正暦2年(991)～寛弘7年(1010)]
 - 台記 [保延2年(1136)～康治2年(1143)]
 - 明月記 [明月記目録/治承4年(1180)～建久8年(1197)]
 - 葉黄記 [寛喜2年(1230)～宝治3年(1249)]
 - 勘仲記 [文永11年(1274)～正応元年(1288)]
 - 公衡公記 [弘安6年(1283)～正和4年(1315)/別記]
 - 花園天皇宸記 [延慶3年(1310)～正慶元年(1332)]

〔南北朝 収録書目〕

- 園太暦 [応長元年(1311)～延文5年(1360)]
- 師守記 [暦応2年(1339)～応安7年(1374)]
- 迎陽記 [康暦元年(1379)～応永8年(1401)]
- 兼宣公記 [至徳4年(1387)～応永31年(1424)]

※2021年以後刊行の平安～南北朝時代の書目は「第6期 補遺」に収録予定です。

続刊予定

- 第3期 古記録編 室町・戦国④～⑥
〔収録予定書目〕
- 北野社家日記/鹿苑日録/言継卿記/舜旧記 ほか
- 第4期 古文書編①・②
第5期 古記録編 江戸①～③
第6期 補遺

関連コンテンツ

- Web版 群書類従
- 群書類従 [全30冊・収録書目1,276点]
 - 続群書類従 [全86冊・収録書目2,128点]
 - 続々群書類従 [全17冊・収録書目350点]
- Web版 日本近代文学館
- 太陽 [博文館発行・全531冊]
 - 文芸倶楽部 明治篇 [博文館発行・全284冊]
 - 校友会雑誌 [第一高等学校校友会発行・全380冊]

中古文学会ご注文書

FAX 03-3291-6300

①メールでも承ります→ pub@books-yagi.co.jp

送信日 年 月 日

②カタログ掲載品以外も学会割引（10%引）にて承ります。弊社ウェブサイトもあわせてご覧くださいませ。

<https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

ご注文者様情報	氏名			
	住所	〒 -		
	電話番号		FAX	
	費用	私費 / 公費	メールアドレス	

公費購入の方	必要書類	見積書 通	納品書 通	請求書 通	日付	いれる / いれない
	書類宛名					
	送料を商品代に含める	はい / いいえ		機関指定書式あり	はい / いいえ	
	※消費税の表記は税込みです ※領収書はご入金確認後の発行です ※所定書式ありの方は小社総合営業部宛にご郵送ください					
	通信欄					

書名	定価（本体+税10%）	学会特別価格（税込）	冊数
定家本 源氏物語 若紫【2020/3発売】 残部僅少！	¥27,500	¥24,750	
定家本 源氏物語 行幸・早蕨【2018/1発売】	¥30,800	¥27,720	
新天理図書館善本叢書 第3期 源氏物語 池田本 全10巻	¥378,400	¥340,560	
尾州家河内本 源氏物語 全10巻	¥308,000	¥277,200	
明治大学図書館所蔵 三条西家本 除目書【2021/5発売】	¥16,500	¥14,850	
幽斎源氏物語間書【2006/8発売】	¥16,500	¥14,850	
新版 評伝与謝野寛晶子 明治篇【2007/8発売】	¥13,200	¥11,880	
新版 評伝与謝野寛晶子 大正篇【2009/8発売】	¥13,200	¥11,880	
新版 評伝与謝野寛晶子 昭和篇【2012/8発売】	¥13,200	¥11,880	
与謝野寛晶子書簡集成 全4巻【2012/8発売】 残部僅少！	¥45,540	¥40,986	
古代日本の国家形成と東部ユーラシア〈交通〉【2023/12】	¥9,900	¥8,910	
日本古代の国造と地域支配【2023/8発売】	¥11,000	¥9,900	
古代の交通と神々の景観【2023/5発売】	¥9,350	¥8,415	
出雲国風土記一校訂・注釈編一【2023/3発売】	¥5,500	¥4,950	
日本古代王権と貴族社会【2023/1発売】	¥9,900	¥8,910	
日本漢籍受容史【2022/11発売】 好評2刷！	¥9,900	¥8,910	
日本古代史書研究【2022/5発売】	¥10,450	¥9,405	
日本書紀の誕生—編纂と受容の歴史—【2018/4発売】	¥5,280	¥4,752	
律令制国家の理念と実像【2022/5発売】	¥12,100	¥10,890	
新皇居行幸年表【2022/4発売】	¥12,100	¥10,890	
上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—【2021/12発売】	¥16,500	¥14,850	
古代日本対外交流史事典【2021/11発売】	¥6,600	¥5,940	
馬と古代社会【2021/11発売】 好評2刷！	¥8,800	¥7,920	
中世天皇家の作法と律令制の残像【2020/6発売】	¥7,700	¥6,930	
日本古代の親子関係【2020/4発売】	¥11,000	¥9,900	
史料纂集古記録編215 参天台五台山記1【2023/4発売】	¥17,600	¥15,840	
史料纂集古記録編217 参天台五台山記2【2023/6発売】	¥15,400	¥13,860	